

第十四回 貴族院議事速記録第二十五號

明治三十三年二月十五日(木曜日)

午前十時十二分開議

議事日程 第二十五號 明治三十三年二月十五日

午前十時開議

- 第一 鐵道營業法案(政府提出案) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 私設鐵道法案(政府提出案) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第六 裁判所及臺灣總督府法院共助法案(政府提出案) 第一讀會
- 第七 重要物產同業組合法案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第八 自家用醬油稅法案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第九 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第十 北海道水產稅則廢止法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第十一 滿期軍用馬匹ニ關スル建議案(伯爵坊城俊章君外四名發議) 會
- 第十二 順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案(兒玉淳一郎君外一名發議) 會

○議長(公爵近衛篤磨君) 報告ヲ致シマス

〔河田書記官朗讀〕

昨十四日本院ニ於テ可決シタル政府提出郵便爲替法案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ諸案ハ即日衆議院ニ回付セリ

政府提出

電信法案

郵便法案

鐵道船舶郵便法案

衆議院提出

殖林ノ爲設定シタル地上權登記ニ關スル法律案

貴族院議事速記録第二十五號

明治三十三年二月十五日

議長ノ報告

同日本院ニ於テ衆議院提出東京市ニ關スル法律案ヲ否決シタル旨衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ可決シタル支那調查會ノ事業助成ニ關スル建議書ハ即日政府ニ呈出セリ

同日井狩彌左衛門君、早川周造君ヨリ五十名ノ賛成ヲ以テ名和昆蟲研究所國庫補助ニ關スル建議案ヲ發議セラレタリ

同日衆議院ヨリ左ノ諸案ヲ受領セリ

政府提出

農工銀行補助法中改正法律案

衆議院提出

東京市區改正條例中改正法律案

同日衆議院ヨリ政府提出明治三十二年勅令第三百七十七號ハ承諾セサルコトニ議決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

船舶檢査法中改正法律案

明治二十九年法律第九十二號廢止法律案

會計檢査官懲戒法案

會計檢査院法中改正法律案

委員長副委員長左ノ適當選セラレタリ

家祿引直處分法案特別委員會

委員長 子爵長岡 護美君

副委員長 男爵渡邊 清君

鐵道敷設法中改正法律案特別委員會

委員長 公爵德川 家達君

副委員長 男爵小澤 武雄君

商法施行前ニ登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵鍋島 直彬君

副委員長 辻 新次君

○伯爵坊城俊章君 唯今ヨリ臺灣在勤ノ官吏恩給扶助ノ件ニ附キマシテ特別委員會ヲ催シタウゴザイマスガ、御差支ハアリマセメカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 暫ク御猶豫ヲ願ヒマス、未ダ少シ定足數ガ覺東ナウザイマス、是ヨリ日程ニ移リマス、鐵道營業法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

鐵道營業法案

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲玆ニ載録ス以下之ニ同シ〕
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月十三日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

鐵道營業法

第一章 鐵道ノ設備及運送

第一條 鐵道ノ建設、車輛器具ノ構造及運轉ハ命令ヲ以テ定ムル規程ニ依ルヘシ

第二條 本法其ノ他特別ノ法令ニ規定スルモノノ外鐵道運送ニ關スル特別ノ事項ハ鐵道運輸規定ノ定ムル所ニ依ル

鐵道運輸規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 運賃ノ増加及運送取扱條件ノ變更ハ關係停車場ニ二週間以上公告シタル後ニ非サレハ之ヲ實施スルコトヲ得ス

第四條 傳染病患者ハ主務大臣ノ定ムル規程ニ依ルニ非サレハ乗車セシムルコトヲ得ス

附添人ナキ重病者ノ乗車ハ之ヲ拒絕スルコトヲ得

第五條 火藥其ノ他爆發質危險品ハ鐵道力其ノ運送取扱ノ公告ヲ爲シタル場合ノ外其ノ運送ヲ拒絕スルコトヲ得

第六條 鐵道ハ左ノ事項ノ具備シタル場合ニ於テハ貨物ノ運送ヲ拒絕スルコトヲ得ス

- 一 荷送人カ法令其ノ他鐵道運送ニ關スル規定ヲ遵守スルトキ
- 二 貨物ノ運送ニ付特別ナル責務ノ條件ヲ荷送人ヨリ求メサルトキ
- 三 運送カ法令ノ規定又ハ公ノ秩序若ハ善良ノ風俗ニ反セサルトキ
- 四 貨物カ成規ニ依リ其ノ線路ニ於ケル運送ニ適スルトキ
- 五 天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ基因シタル運送上ノ支障ナキトキ

前項ノ規定ハ旅客運送ニ之ヲ準用ス

第七條 運送ニ付特別ノ設備ヲ要スル貨物ニ關シテハ鐵道ハ其ノ設備アル場合ニ限り之ヲ引受クルノ義務ヲ負フ

第八條 鐵道ハ直ニ運送ヲ爲シ得ヘキ場合ニ限り貨物ヲ受取ルヘキ義務ヲ

貨フ

第九條 貨物ハ運送ノ爲受取リタル順序ニ依リ之ヲ運送スルコトヲ要ス但シ運輸上正當ノ事由若ハ公益上ノ必要アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十條 鐵道ハ貨物ノ種類及性質ヲ明告スヘキコトヲ荷送人ニ求ムルコトヲ得若シ其ノ種類及性質ニ付疑アルトキハ荷送人ノ立會ヲ以テ之ヲ點檢スルコトヲ得

點檢ニ因リ貨物ノ種類及性質カ荷送人ノ明告シタル所ト異ナラサル場合ニ限り鐵道ハ點檢ニ關スル費用ヲ負擔シ且之カ爲生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

前二項ノ規定ハ火藥其ノ他爆發質危險品ヲ成規ニ反シ手荷物中ニ收納シタル疑アル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 貨幣、有價證券其ノ他ノ高價品ニ付テハ荷送人カ運送委託ノ際其ノ物品ノ種類、性質及價格ヲ明告シ且増賃金ヲ支拂ヒタル場合ノ外鐵道ハ損害賠償ノ責ニ任セス但シ鐵道力増賃金ノ支拂ヲ請求セサルニ因リ荷送人ニ於テ其ノ支拂ヲ爲ササルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項増賃金ノ割合ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依ル

第十二條 牛馬其ノ他ノ獸類ニ付テハ荷送人カ運送委託ノ際價格ヲ明告セサルトキ又ハ明告スルモ鐵道運輸規程ニヨリ鐵道ノ請求スル増賃金ヲ支拂ハサルトキハ其ノ損害ニ付鐵道ハ鐵道運輸規程ニ定ムル最高金額迄ヲ限り賠償ノ責ニ任ス

前項賠償金額ノ制限ハ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ損害ヲ生シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十三條 惡意又ハ重大ナル過失ニ因ラサル手荷物ノ滅失、毀損ニ付テハ鐵道ハ鐵道運輸規程ニ定ムル最高金額迄ヲ限り損害賠償ノ責ニ任ス

第十四條 運賃償還ノ債權ハ一年間之ヲ行ハサルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第十五條 旅客營業上別段ノ定アル場合ノ外運賃ヲ支拂ヒ乗車券ヲ受クルニ非サレハ乗車スルコトヲ得ス

第十六條 旅客カ乗車前旅行ヲ止メタルトキハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

乘車後旅行ヲ中止シタルトキハ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス

第十七條 天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ運送ニ著手シ又ハ之ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ旅客及荷送人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ鐵道ハ既ニ爲シタル運送ノ割合ニ應シ運賃其ノ他ノ費用ヲ請求スルコトヲ得

第十八條 旅客ハ鐵道係員ノ請求アリタルトキハ何時ニテモ乗車券ヲ呈示シ檢査ヲ受クヘシ

有效ノ乗車券ヲ所持セス又ハ乗車券ノ檢査ヲ拒ミ又ハ取集ノ際之ヲ渡ササル者ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ割増賃金ヲ支拂フヘシ
前項ノ場合ニ於テ乗車停車場不明ナルトキハ其ノ列車ノ出發停車場ヨリ運賃ヲ計算ス

第二章 鐵道係員

第十九條 鐵道係員ノ職制ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 私設鐵道ハ鐵道係員ノ服務規程ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十一條 主務大臣ハ鐵道係員タルニ要スル資格ヲ定ムルコトヲ得

第二十二條 旅客及公衆ニ對スル職務ヲ行フ鐵道係員ハ一定ノ制服ヲ著スヘシ

第二十三條 私設鐵道係員ハ職務上ノ義務ニ違背シ若ハ職務ヲ怠リ又ハ失行アリタルトキハ懲戒ヲ受ク

會社ハ懲戒ニ關スル規程ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

懲戒ヲ爲スヘキ場合ニ於テ會社之ヲ爲ササルトキハ主務大臣ニ於テ懲戒ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 鐵道係員職務取扱中旅客若ハ公衆ニ對シ失行アリタルトキハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條 鐵道係員職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リ旅客若ハ公衆ニ危害ヲ與スノ虞アル所爲アリタルトキハ五百圓以下ノ罰金又ハ三月以下ノ重禁錮ニ處ス

第二十六條 鐵道係員旅客ヲ強ヒテ定員ヲ超エ車中ニ乗込マシメタルトキハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條 鐵道係員旅客又ハ荷送人若ハ荷受人ト通謀シ運賃ノ一部若ハ全部ヲ免レシメタルトキハ三年以下ノ重禁錮ニ處シ五百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二十八條 鐵道係員道路踏切ノ開通ヲ怠リ又ハ故ナク車輛其ノ他ノ器具ヲ踏切ニ留置シ因テ往來ヲ妨害シタルトキハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三章 旅客及公衆

第二十九條 運賃ヲ免ルルノ目的ヲ以テ左ノ所爲ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 有效ノ乗車券ナクシテ乗車シタルトキ

二 乗車券ニ指示シタルモノヨリ優等ノ車ニ乘リタルトキ

三 乗車券ニ指示シタル停車場ニ於テ下車セサルトキ

第三十條 運送品ノ種類若ハ性質ヲ詐稱シ又ハ運賃ヲ免ルルノ目的ヲ以テ詐偽ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ重禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 鐵道運送ニ關スル法令ニ背キ火藥類其ノ他爆發質危險品ヲ託送シ又ハ車中ニ携帯シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 列車警報機ヲ濫用シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 旅客左ノ所爲ヲ爲シタルトキハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

一 列車運轉中乗降シタルトキ

二 列車運轉中車輛ノ側面ニ在ル車扉ヲ開キタルトキ

三 列車中旅客乗用ニ供セサル個所ニ乘リタルトキ

第三十四條 制止ヲ肯セスシテ左ノ所爲ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

一 停車場其ノ他鐵道地内吸煙禁止ノ場所及吸煙禁止ノ車内ニ於テ吸煙シタルトキ

二 婦人ノ爲ニ設ケタル待合室及車室等ニ男子妄ニ立入りタルトキ

第三十五條 車内、停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ妄狀ヲ現ハシ其ノ他不良ノ行狀ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第三十六條 車輛、停車場其ノ他鐵道地内ノ標識揭示ヲ改竄、毀棄、撤去シ又ハ燈火ヲ滅シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

信號機ヲ改竄、毀棄、撤去シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三十七條 停車場其ノ他鐵道地内ニ妄ニ立入りタル者ハ科料ニ處ス

第三十八條 暴行脅迫ヲ以テ鐵道係員ノ職務ノ執行ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三十九條 車内、停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ發砲シタル者ハ二十五圓

以下ノ罰金ニ處ス

第四十條 列車ニ向テ瓦石類ヲ投擲シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 第四條ノ規定ニ違反シ傳染病患者ヲ乗車セシメタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス傳染病患者其ノ病症ヲ隱蔽シテ乗車シタルトキ亦同シ
前項ノ場合ニ於テ途中下車セシメタルトキト雖既ニ支拂ヒタル運賃ハ之ヲ還付セス

第四十二條 左ノ場合ニ於テ鐵道係員ハ旅客及公衆ヲ車外又ハ鐵道地外ニ退去セシムルコトヲ得

一 有效ノ乗車券ヲ所持セス又ハ檢査ヲ拒ミ運賃ノ支拂ヲ肯セサルトキ

二 第三十三條第三號ノ罪ヲ犯シ鐵道係員ノ制止ヲ肯セサルトキ又ハ第三十四條ノ罪ヲ犯シタルトキ

三 第三十五條第三十七條ノ罪ヲ犯シタルトキ

四 其ノ他車内ニ於ケル秩序ヲ紊ルノ所爲アリタルトキ

前項ノ場合ニ於テ既ニ支拂ヒタル運賃ハ之ヲ還付セス

第四十三條 前諸條ノ犯罪及鐵道保安ニ關スル犯罪ニシテ罰金ノ刑ニ該ルヘキ輕罪若ハ違警罪ノ現行犯アリタルトキ被告人力其ノ住所氏名ヲ分明ニ告知セス又ハ逃亡ノ虞アルトキハ鐵道係員ハ司法警察官ニ之ヲ引致スルコトヲ得

附則

第四十四條 本法ハ私設鐵道法ニ依ラサル私設鐵道ニハ之ヲ適用セス

第四十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

鐵道略則、鐵道犯罪罰例、明治十六年七月第二十三號布告ハ之ヲ廢止ス

〔政府委員古市公威君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古市公威君) 日程ノ第一鐵道營業法案ト其第三ニ掲ゲテゴザイマス私設鐵道法案トハ關係致シテ居ル法案デゴザイマスニ依ッテ右兩案ヲ合セテ提出ノ理由ヲ説明致シマス、現行ノ私設鐵道條例ハ明治二十年ノ發布ニ係ルモノデアリマシテ、其當時ニ比シマスレバ鐵道ハ著シイ發達ヲ致シテ居リマス、今日ハ私設會社ノ數モ五十八程ゴザイマス、營業ヲ開始致シテ居ル線路ノ長サモ二千八百哩程ニ達シテ居ル次第デアリマスカラ、鐵道ニ關スル事項ハ餘程複雑ニ相成ッテ居リマス、ソレデ二十年發布ノ現行條例ニ依ッテ總テヲ規制シテ參リマスルコトハ餘程困難デアリマス、加之商法ガ修正セラレマシテ其修正商法ニモ此私設鐵道條例ハ到底改正ヲ要スルコトヲ豫想シテア

リマシテ、其改正ニ至ルマデハ舊商法附屬法ヲ適用スルコトニナッテ居リマス、ソレデ此修正商法ト適合致シマスヤウニ致シマスニハ現行ノ私設鐵道條例ヲ改正シナケレバナラヌコトデアリマスニ依ッテ、之ヲ改正致シマシテ私設鐵道法トシテ茲ニ提出致シテ次第デゴザイマス、又鐵道營業法、此鐵道營業ニ關シマスル法文ハ是亦餘程古イモノデアリマス、明治五年ニ發布ニナリマシタ鐵道略則、明治六年ノ鐵道犯罪罰例、是ガ先ヅ鐵道ニ關スル營業ヲ取締ッテ居ル、差配シテ居ル法律デアアルノデゴザイマス、是ハ迎モ今日ノ情況ニ適シマセヌ甚ダ不備ナモノデアリマス、勿論運輸業ハ普通法トシテ商法ニ規定モゴザイマスガ、鐵道ハ特別ノモノデアリマスニ依ッテ特別ノ規定ヲ設ケナケレバナリマセヌ、即チ鐵道營業法ナル特別法ヲ設ケテ旅客貨物ノ安全ヲ圖リ運輸業ノ發達ヲ企圖シナケレバナラヌ次第デアリマス、依ッテ此兩案ヲ提出致シマシタノデアリマス、閉會ノ期モ切迫シテ居リマスシ法案モ澤山アルコトデアリマスガ、成ルベク速ニ御審査アッテ協賛アラムコトヲ希望致シマス

○兒玉淳一郎君 本員ハ一ツ質問ガアリマス、政府委員ニ伺ヒマスガ、此營業法案ノ中ニ荷物ヲ送ッタコトニ附イテ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 兒玉君ハドチラデスカ、第一ノ方デスカ、第三ノ方デスカ

○兒玉淳一郎君 唯今ノ營業法デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○兒玉淳一郎君 荷物ヲ傷メタ場合ニハ鐵道局ノ運輸課ニ於テ損害ノ責任ヲ負ハセル人ハ有ルノデアリマスカ無イノデアリマスカ、チヨット法文デハ見エマセヌガ、ドウナッテ居リマスカ

〔政府委員犬塚勝太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(犬塚勝太郎君) 私ヨリ御答致シマスガ、唯今ノ御尋ハ預ケマシタ荷物ニ損害ノアリマシタ折ノ賠償ノコトデアリマスカ

○兒玉淳一郎君 ハイ

○政府委員(犬塚勝太郎君) ソレハ一般ノ商法ニ依リマス積リデ、此營業法中ニハ規定致サナカッタノデアリマス

○兒玉淳一郎君 尙ホ伺ヒマス、此安イ札ヲ買ッテ高イ車ヘ乗ッタトキノ罰則ガアリマス、是ハ御尤千萬ノコトデアリマスガ、能ク途中デ今マデ乗ッタ車ハ不便ダト言ッテ乗換ヘルト云フ場合ガ往々アリマシテ、チヨット車長ニ

頼ミマシテ札ヲ換ヘズニ乗ルコトモアリマスガ、其場合ハドウ云フ工合ニナリマス

○政府委員(犬塚勝太郎君) 御答ヲ致シマスルガ、ソレ等ノ場合ハ玆ニ書イテアリマスル所ノ鐵道運輸規程中ニ詳細ニ規定致シマスル積リデゴザイマシテ、サウ云フ場合ニハ決シテ不都合ノナイヤウナ規定ヲ設ケマスル者デゴザイマス

○村田保君 本員モ少々御尋致シタイ、併ナガラ此案ハ唯今實ハ函ノ中カラ出シマシテ突然ノコトデゴザイマスカラ、マダ能ク見マセヌガ、少シ此罰則ノ所デ伺ヒタイ、二十五條、二十七條アタリノ罰則ハ非常ニ重クナッテ居ルヤウデアリマスガ、二十七條アタリニナリマスト是ハ輕罪ノ未遂犯罪デ、マダ其罪ヲ遂ゲタト云フコトデナイ、唯運賃ノ一部トカ全部ヲ免レムトシタトキデ、免レモ何モシナイ、サウ仕掛タダケデ三年以下ノ重禁錮、五百圓以下ノ罰金ト云フコトハ非常ニ普通ノ刑法ヨリ重イヤウニ思ヒマスガ、是ハ何カ他ニ斯ウ云フコトガアッテソレニ御據リニナッタモノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(犬塚勝太郎君) 御答ヲ致シマスガ、二十七條ノ御尋デゴザイマスガ

○村田保君 二十五條、二十七條

○政府委員(犬塚勝太郎君) 二十五條ニ就イテ御答ヲ致シマスルガ、二十五條ハ現行ノ鐵道罰則中ニ書イテアルノデゴザイマシテ、此鐵道罰則中ニモ矢張り危害ヲ醸スノ虞アル所爲ヲ罰シテ居リマスノデアリマス、ソレヲ玆ニ移シマシタノデ、現行法ヨリハ聊カ輕ク致シタヤウニ心得テ居リマス、第二十七條ニ就キマシテ御答ヲ致シマスルガ、是ハ全部ヲ免レシメタルトキデゴザイマシテ、未遂デハゴザイマセヌ、免レシメマシタ場合デゴザイマス

○村田保君 此罰則ハ何ニ據ッタノデアリマス

○政府委員(犬塚勝太郎君) ソレハ詐欺取財ノ方ニ權衡ヲ取りマシタノデゴザイマス、ソレヨリ輕ク致シマシタ積リデゴザイマス

○村田保君 詐欺取財デ五百圓ト云フ罰金ガアリマスガ

○政府委員(犬塚勝太郎君) 其五百圓ノ最上限ハ重クナッテ居ルカ存ジマセヌガ、略ソレニ準ヘテ此二十七條ノ罰則ヲ掙ヘマシタ心得デゴザイマス

○村田保君 宜シウゴザイマス、ソレダケ伺ヘバ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ……此委員ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシト」呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 私設鐵道法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會私設鐵道法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月十三日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

私設鐵道法

第一條 本法ハ軌道條例其ノ他特別ノ法令ニ規定スルモノヲ除クノ外一般運送ノ用ニ供スル私設鐵道ニ之ヲ適用ス

私設鐵道株式會社ヲ運送營業ノ爲ニ支線ヲ敷設スルトキハ現ニ一般運送ノ用ニ供セサル場合ト雖本法ヲ適用ス

第二條 私設鐵道株式會社ヲ發起セムトスル者ハ左ノ書類圖面ヲ具シ主務大臣ニ假免許ヲ申請スヘシ

一 起業目論見書

二 假定款

三 起業カ公共ノ利益タルコトヲ證スル調書

四 線路豫測圖及説明書

五 敷設費用ノ概算書

六 運送營業上ノ收支概算書及説明書

起業目論見書ニハ發起人各自署名捺印スルコトヲ要ス

第三條 主務大臣ハ前條書類圖面ノ外審査ニ必要ト認ムル書類圖面ノ呈出ヲ命スルコトヲ得

第四條 主務大臣ハ假免許ノ申請ヲ審査シ起業ノ大體ニ於テ不都合ナシト認ムルトキハ假免許狀ヲ下付スヘシ

第五條 假免許ニハ本免許申請ノ期限ヲ附ス

前項期限内ニ本免許ノ申請ヲ爲ササルトキハ假免許ハ其ノ效ヲ失フ但シ

正當ノ事由アリテ延期ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六條 主務大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ申請事項ヲ變更セシメ又ハ

假免許ニ條件ヲ附スルコトヲ得

假免許ニ附シタル條件ニ違反シタルトキハ假免許ハ其ノ效ヲ失フ

第七條 發起人假免許狀ノ下付ヲ受ケタルトキハ定款ヲ作り起業目論見書ヲ公告シテ株主ヲ募集スルコトヲ得

定款ハ假定款ニ準シ之ヲ作ルコトヲ要ス

第一項ノ公告ニハ本法ニ依リ假免許狀ヲ受ケタル旨及假免許ノ年月日ト各株式申込人ニ假免許狀並定款ヲ展閱セシムル旨トヲ記載スルコトヲ要ス

第八條 發起人總員ハ少クモ總株式ノ十分ノ二ヲ引受クルコトヲ要ス

第九條 株式ハ金錢ヲ以テスルノ外之ヲ引受クルコトヲ得ス

株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得

第十條 發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキ又ハ創立總會終結シタルトキハ取締役ハ左ノ書類圖面ヲ具シ主務大臣ニ本免許ヲ申請スヘシ

一 定款

二 工事ノ方法書

三 線路實測圖

四 工費豫算書

前項ノ申請ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 起業目論見書ノ謄本

二 假免許狀ノ謄本

三 發起人ニ於テ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ検査役カ裁判所ニ爲シタル報告書ノ謄本及裁判所カ検査役ノ報告ヲ聽キ爲シタル決定書ノ謄本

四 株主ヲ募集シタルトキハ株式申込證ノ謄本、發起人、取締役、監査役又ハ検査役ヨリ創立總會ニ爲シタル報告ノ要領及創立總會ノ議事及決議ノ要領

第十一條 鐵道延長ノ假免許及本免許ノ申請ハ定款ノ變更ト同一ノ方法ニ依リ株主總會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

前項本免許ノ申請ハ定款變更ノ決議認可ノ申請ト共ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十二條 創立總會ニ於テ設立ノ廢止ノ決議ヲ爲シタルトキハ主務大臣ニ假免許狀ヲ返納スヘシ

第十三條 主務大臣ハ第十條ノ書類圖面ヲ審査シ妥當ト認ムルトキハ本免許狀ヲ下付スヘシ

本免許ニハ工事竣功ノ期限ヲ附ス工事竣功ノ期限ハ工區ヲ分チテ之ヲ附スルコトヲ得

公益上必要ト認ムルトキハ主務大臣ハ本免許ニ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ規定ハ許可又ハ認可ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 會社ノ設立ノ登記ニハ商法ニ規定スル事項ノ外本免許ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

設立ノ登記ノ期間ハ本免許ヲ受ケタル日より之ヲ起算ス

第十五條 本法及商法ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ主務大臣ニ届出ツヘシ

第十六條 本免許ヲ受ケタル後六箇月内ニ設立ノ登記ヲ爲ササルトキハ免許ハ其ノ效ヲ失フ

第十七條 會社ハ主任技術者ヲ置キ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムヘシ

主任技術者ヲ不適任ト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ解任ヲ命スルコトヲ得

第十八條 主務大臣ハ監督上必要ト認ムルトキハ所部ノ官吏ニ命シ會社ノ取締役會議又ハ株主總會ニ臨監セシムルコトヲ得

第十九條 主務大臣ハ監督上必要ト認ムルトキハ所部ノ官吏ニ命シ會社ノ會計及財産ノ實況ヲ検査セシムルコトヲ得

検査官吏ハ會社ノ金庫、財産現在高、帳簿及總テノ書類ヲ検査シ取締役其ノ他ノ役員又ハ使用人ニ説明ヲ求ムルコトヲ得

第二十條 主務大臣ハ會社ノ會計ニ關スル準則ヲ設クルコトヲ得

第二十一條 定款變更ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效ヲ生セス

定款ハ本免許ニ附セラレタル條件ニ違反スルコトヲ得ス

第二十二條 定款變更ニ因リ登記事項ニ變更ヲ生シ登記ヲ爲ストキハ定款變更認可ノ年月日ヲ併セテ記載スルコトヲ要ス

第二十三條 會社ハ株金全額拂込前ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

第二十四條 會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ他ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス

第二十五條 會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ他ノ會社ノ株式ヲ

取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第二十六條 會社ハ株主總會ノ決議ヲ經主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ鐵道ノ貸借又ハ營業ノ管理委託ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ決議ハ定款變更ト同一ノ方法ニ依ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

營業ノ管理委託ヲ受ケタル會社ハ其ノ管理ニ付監督官廳ニ對シ其ノ責任ス

第二十七條 會社ノ取締役其ノ他ノ役員又ハ使用人ハ監督官廳ノ呼出ニ應シ説明ヲ爲スノ義務ヲ負フ

第二十八條 會社ハ鐵道臺帳ヲ調製シ之ヲ備置クコトヲ要ス

鐵道臺帳ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條 會社ハ社債ヲ募集セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

社債募集ノ公告ニハ商法ニ規定スル事項ノ外其ノ認可ノ年月日ヲ併セテ記載スルコトヲ要ス

社債ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス

第三十條 會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ鐵道及之ニ屬スル物件ヲ抵當トシテ負債ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ負債ハ定款變更ト同一ノ方法ノ決議ニ依ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 前二條ノ債務ノ額ハ合セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十二條 會社ハ每營業年度中ニ支拂フヘキ社債及負債ノ元利金ヲ控除シタル後ニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス

第三十三條 鐵道及之ニ屬スル物件ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十四條 鐵道ニ屬スル物件ノ貸渡又ハ讓渡ハ主務大臣ノ定ムル規定ニ依リ認可ヲ受ケヘシ

第三十五條 會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リ設立シタル會社ハ合併ニ因リ消滅シタル會社ノ免許ニ屬スル權利及義務ヲ承繼ス但シ主務大臣ニ於テ之ヲ變更スルノ條件ヲ附シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

會社合併ノ登記ニハ商法ニ規定スル事項ノ外合併ノ認可ヲ受ケタル年月日ヲ併セテ記載スルコトヲ要ス

第三十六條 工事方法ノ變更及假設ノ工事ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 工費豫算ノ變更ハ主務大臣ノ定ムル規定ニ依リ認可ヲ受ケヘシ

第三十八條 鐵道ノ建設、設計等ニ關スル法令ノ制定、變更ニ因リ工事方法ハ變更ヲ受ケ

第三十九條 會社ハ設立登記ノ日より六箇月内ニ鐵道ノ敷設ニ著手シ本免許ニ附シタル期限内ニ之ヲ竣工スヘシ

前項ノ著手期限ハ鐵道延長ノ場合ニ在リテハ其ノ本免許狀下付ノ日より之ヲ起算ス

天災其ノ他避クヘカラサル事變ノ爲期限内ニ敷設ニ著手シ又ハ竣工スルコト能ハサルトキハ會社ハ期限ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ハ天災、事變ノ止ミタル日より一箇月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

自己ノ過失ニ歸セサル正當ノ事由ニ因リ期限内ニ敷設ニ著手シ又ハ竣工シ難キトキハ期限經過前ニ延期ヲ申請スヘシ延期ノ期間ハ通シテ原期間ノ半ヲ超ユルコトヲ得ス

法令ノ結果ニ因リ工事方法ニ變更ヲ生シ又ハ主務大臣ノ命令ニ依リ若ハ其ノ認可ヲ受ケ工事方法ヲ變更シタルトキハ更ニ期限ノ指定ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ハ法令ノ結果ニ因ルモノハ其ノ施行ノ日より一箇月内ニ、主務大臣ノ命令ニ依ルモノハ其ノ命令ヲ受ケタル日より一箇月内ニ又認可ヲ受ケヘキモノハ其ノ認可ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四十條 軌間ハ特許ヲ得タルモノヲ除クノ外三尺六吋トス

第四十一條 左ニ掲グルモノヲ以テ鐵道用地トス

一 線路用地

二 停車場、信號所及車庫、貨物庫等ノ建設ニ要スル土地

三 鐵道構内ニ職務上常住ヲ要スル鐵道員ノ舍宅及運輸保線ニ從事スル鐵道員ノ駐在所等ノ建設ニ要スル土地

四 鐵道ニ要スル車輛、器具ヲ修理製作スル工場及其ノ資材器具ヲ貯藏スル倉庫ノ建設ニ要スル線路ニ沿ヒタル土地

線路用地ノ幅員ハ築堤、切取、架橋等工事ノ必要ニ應シ工事方法書ニ依リ之ヲ定ム

第四十二條 道路、橋梁、河川、溝渠ニ關スル工事ノ施設ハ所管官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第四十三條 線路ノ道路ヲ横斷スル場所ニハ橋梁ヲ架設シ又ハ地下道若ハ踏切道ヲ設クヘシ其ノ他危險防止ノ爲必要ナル箇所ニハ牆、柵、門戶、堤塘、溝渠ヲ設ケ又ハ番人ヲ配付スル等充分ノ設備ヲ爲スコトヲ要ス

第四十四條 主務大臣ハ監査員ヲ派遣シ工事ヲ監視セシムルコトヲ得

工事カ工事方法書又ハ法令若ハ法令ニ基キテ發スル命令ヲ違ヒタルトキハ主務大臣ハ其ノ改築ヲ命シ又ハ之ヲ停止スルコトヲ得

第四十五條 會社ハ主務大臣ニ申請シ其ノ許可ヲ得タル後ニ非サレハ運輸ヲ開始スルコトヲ得ス

第四十六條 運輸開始ノ申請アリタルトキハ主務大臣ハ監査員ヲ派遣シ鐵道ノ設備ヲ監査セシメ運輸ヲ開始スルニ適當ト認ムルトキハ其ノ許可ヲ與フヘシ若シ不適當ト認ムルトキハ其ノ改良ヲ命シ其ノ竣工ノ後更ニ運輸開始ノ申請ヲ爲サシムヘシ

第四十七條 前二條ノ規定ハ新設又ハ變更シタル建設物ヲ運輸ノ用ニ供スル場合ニ準用ス

第四十八條 主務大臣ハ監査員ヲ派遣シ鐵道ノ設備又ハ運輸係線ノ方法ヲ監査セシメ不適當ト認ムルトキハ何時ニテモ必要ナル施設ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ危險ナリト認ムルトキハ其ノ施設ヲ終ル迄運輸又ハ使用ヲ停止スルコトヲ得

第四十九條 第四十四條第二項、第四十八條ノ規定ニ依リ改築又ハ必要ナル施設ヲ命セラレタルトキハ會社ハ之ヲ終リタル後主務大臣ニ申請シテ監査ヲ受クヘシ

第五十條 監査員ハ監査上必要ト認ムルトキハ取締役其ノ他會社ノ役員又ハ使用人ニ説明ヲ求メ及書類圖面ヲ檢閱スルコトヲ得

第五十一條 主務大臣ハ鐵道ノ設備力運輸ノ必要ニ適セサルモノト認ムルトキハ之ニ適スヘキ設備ヲ命スルコトヲ得

第五十二條 主務大臣ハ公衆ノ安全ノ爲官設鐵道ニ實施スル事物ヲ會社ニ命シテ施設セシメ其ノ他官設鐵道ニ實施スル規則ヲ私設鐵道ニ適用スル

コトヲ得

第五十三條 政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ於テ會社ノ鐵道ニ接續シ若ハ之ヲ横斷シテ鐵道ヲ敷設シ又ハ會社ノ鐵道ニ接近シ若ハ之ヲ横斷シテ道路、橋梁、溝渠若ハ運河ヲ造設スルトキハ會社ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ公益上必要ト認ムルトキハ主務大臣ハ會社ニ命シ接續、横斷ノ場所ニ於ケル設備ヲ共用ニ供セシメ又ハ之ヲ變更セシムルコトヲ得

第五十四條 前條ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更ニ要スル費用ノ負擔ニ付雙方ノ協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

前項ノ裁定ハ終局トス

第五十五條 農工商業者カ其ノ產物、商品運送ノ爲敷設スル鐵道ヲ會社ノ鐵道ニ接續セシムルコトヲ求メタルトキハ會社ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ雙方ノ協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

前項ノ裁定ハ終局トス

第五十六條 會社ハ運輸ニ關スル規定ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第五十七條 會社ハ旅客及荷物ノ運賃ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

主務大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ運賃ノ變更ヲ命スルコトヲ得

運賃増加ノ公告ニハ其ノ認可ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十八條 下等旅客運賃額ハ線路ノ距離一哩ニ付金二錢ノ割合ナリ超過スルコトヲ得ス但シ二哩未滿ノ哩數ニ對シテハ其ノ一人ノ運賃額ヲ金四錢迄ニ定ムルコトヲ得

本法ノ規定ニ依リ運賃ヲ半減スルトキ又ハ哩數ニ應シテ運賃額ヲ定ムルトキ生スル厘位ノ金額ハ之ヲ錢位ニ切上グルコトヲ得

第五十九條 會社ハ運賃ノ割引ニ付テハ豫メ一定ノ準則ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第六十條 主務大臣ハ運賃ノ割引ハ各場合ニ付認可ヲ受クヘシ

準則ニ依ラサル運賃ノ割引ハ各場合ニ付認可ヲ受クヘシ

第六十條 主務大臣ハ運賃ノ算法、荷物ノ等級、運賃表ノ樣式及公告ノ方

法等ニ關シ規定ヲ設クルコトヲ得

第六十一條 會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ鐵道運送ニ對シ何等ノ名義ヲ問ハス運賃以外ノ料金ヲ請求スルコトヲ得ス

第六十二條 會社ハ列車ノ發著時間及度數ヲ定メ主務大臣ノ定ムル規定ニ依リ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

主務大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ列車ノ種類、發著時間及度數ヲ定メ其ノ施行ヲ會社ニ命スルコトヲ得

第六十三條 主務大臣ハ會社ニ他ノ鐵道トノ連絡運輸又ハ直通運輸ヲ命スルコトヲ得

第六十四條 二箇以上ノ私設鐵道ヲ連絡運輸又ハ直通運輸ヲ爲ス場合ニ於テ設備ノ變更、交互運輸ノ手續、運賃ノ割合其ノ他費用ノ負擔ニ付會社間ニ協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

前項ノ裁定ハ終局トス

官設鐵道ト私設鐵道ト連絡運輸又ハ直通運輸ヲ爲ス場合ニ於テ協議調ハサルトキハ主務大臣之ヲ定ム

第六十五條 會社ハ主務大臣ノ定ムル規定ニ依リ事故ノ届出ヲ爲スヘシ主務大臣ハ監査員ヲ派遣シ事故ノ審査ヲ行ハシムルコトヲ得
事故審査ノ爲必要ト認ムルトキハ會社ニ命シ現狀ヲ存置セシムルコトヲ得

監査員ハ取締役其ノ他ノ役員、使用人及關係人ヲ呼出、訊問シ其ノ他事故ノ審査ニ必要ナル審理手續ヲ爲スコトヲ得

第六十六條 會社ハ營業年度毎ニ營業報告書ヲ調製シ定時總會後一週間内ニ主務大臣ニ差出スヘシ

第六十七條 會社ハ主務大臣ノ定ムル規定ニ依リ鐵道統計ヲ調製シ之ヲ差出スヘシ

第六十八條 鐵道事務ニ關シ往復スル吏員ニシテ監督官廳ヨリ發スル乗車證ヲ携帯スルモノハ無料ニテ乗車セシムヘシ

第六十九條 公務ヲ以テ往復スル陸海軍軍人、軍屬及警察官吏又ハ軍馬、銃砲、彈藥、糧食、被服、陣具、工鋏、兵器具、天幕等ニシテ公用タル

コトヲ證スル通券アルモノハ半價ヲ以テ輸送スヘシ

第七十條 囚徒及監守官吏ハ半價ヲ以テ乗車セシムヘシ

第七十一條 會社ハ法令ノ定ムル所ニ依リ平時、戰時ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ

供スルノ義務ヲ負フ

第七十二條 政府ハ本免許狀下付ノ日ヨリ滿二十五箇年ノ後鐵道及附屬物件ヲ買上クルノ權ヲ保有ス

合併其ノ他ノ方法ニ依リ會社カ他會社ノ鐵道ヲ引受ケタルトキハ其ノ鐵道ニ對スル前項ノ期限ハ舊會社ニ本免許狀下付シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第七十三條 前條ニ依リ鐵道及附屬物件ヲ買上クルトキハ前五箇年間ノ株券價格ヲ平均シテ買上價格ヲ定ム

前項ノ價格カ會社ニ於テ前五箇年間ニ株主ニ支拂ヒタル純益金ノ配當平均額ノ二十倍ノ金額ヲ超ユルトキハ該金額ヲ以テ買上價格ト爲スヘシ

第七十四條 鐵道及附屬物件ノ狀態不完全ナルトキハ其ノ補修ニ要スル費額ヲ前條ノ金額ヨリ控除シタルモノヲ以テ買上價格ト爲スヘシ

前項補修ニ要スル費額ニ付協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ聽キ政府之ヲ定ム

鑑定人ノ選定ニ關スル規則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十五條 前三條ノ規定ハ法令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ノ效力ヲ妨ケス

第七十六條 會社カ第三十九條ノ期限内ニ鐵道ノ敷設ニ著手セス又ハ之ヲ竣功セサルトキハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

第七十七條 會社カ第四十五條ノ規定ニ違反シテ運輸ヲ開始シ若ハ第四十七條ノ規定ニ違反シテ建設物ヲ運輸ノ用ニ供シ又ハ第四十八條第二項ノ停止ノ命令ニ違反シタルトキハ其ノ違反ノ行爲ニ因リ得タル收入金ヲ沒收ス

收入金ト區別シ難キ他ノ收入アルトキハ併セテ之ヲ沒收ス

第七十八條 會社カ法令ノ規定又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ依リ命セラレタル施設ヲ爲ササルトキハ政府ニ於テ之ヲ施行シ會社ヲシテ其ノ費用ヲ辨償セシムルコトヲ得

第七十九條 第七十七條ノ沒收金及第七十八條ノ費用ハ監督官廳ニ於テ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收ス但シ其ノ先取特權ハ公課ニ次キ之ヲ行フ

第八十條 會社カ法令ノ規定又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ法令ニ基キ發スル命令ヲ遵守セス其ノ他公益ヲ害スヘキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト
二 官設鐵道又ハ他ノ會社ヲシテ會社ノ計算ヲ以テ運輸ヲ爲サシムルコト

三 免許ノ一部又ハ全部ヲ取消スコト

前項ノ規定ニ依リ解任セラレタル取締役其ノ他ノ役員ハ再任セラルルコトヲ得ス

第八十一條 免許ノ失効又ハ取消ノ場合ニ於テ主務大臣ハ其ノ鐵道及附屬物件ヲ公賣ニ付シ買受人ヲシテ之ヲ竣功セシムルコトヲ得

買受人ハ原免許ニ屬スル權利及義務ヲ承繼ス但シ主務大臣ハ更ニ著手又ハ竣功ノ期限ヲ指定スルコトヲ得

二回ノ公賣ヲ行フモ買受人ナキトキハ鐵道及附屬物件ヲ個個ノ物件トシテ之ヲ處分セシム

公賣ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十二條 鐵道延長免許ノ失効又ハ取消ニ因リ前條ノ公賣ヲ爲ス場合ニ於テ鐵道ノ連絡上必要アルトキハ本線ノ免許ノ一部又ハ全部ヲ取消シ併セテ其ノ鐵道及附屬物件ヲ公賣ニ付スルコトヲ得

第八十三條 會社ハ免許ノ全部失効又ハ全部取消ニ因リテ解散ス其ノ本免許ノ申請ヲ却下セラレタルトキ亦同シ

第八十四條 假免許ヲ受ケスシテ會社設立ノ行爲ヲ爲シタル者又ハ免許ヲ受ケスシテ工事ニ著手シタル者ハ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十五條 事故審査ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ現狀存置ノ命令ニ違反シ又ハ呼出、訊問ニ應セス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十六條 第四十五條ノ規定ニ違反シテ運輸ヲ開始シ若ハ第四十七條ノ規定ニ違反シテ建設物ヲ運輸ノ用ニ供シ又ハ第四十四條第二項第四十八條第二項ノ規定ニ依ル停止ノ命令ニ違反シタルトキハ取締役ヲ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ置ス

第八十七條 第十九條第二項第二十七條第五十條ノ場合ニ於テ呼出ニ應セス又ハ説明ヲ拒ミ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第八十八條 左ノ場合ニ於テハ發起人、取締役ヲ五百圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ定メタル登記事項ノ登記ヲ怠リタルトキ

二 第七條、第二十九條第二項、第五十七條第三項ノ公告中ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

三 鐵道臺帳ノ調製備置ヲ怠リ之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

四 本法ニ定メタル營業報告、統計書、事故其ノ他ノ届出及法令ニ基キテ監督官廳ノ命シタル報告届出ノ呈出ヲ怠リ又ハ故意ニ不正ノ報告届出ヲ爲シタルトキ

五 法令ノ規定若ハ法令ニ基キテ發シタル命令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ發シタル命令ニ違反シタルトキ

第八十九條 左ノ場合ニ於テハ取締役ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス
一 本法ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケヘキ事項ニ關シ之ヲ受ケスシテ施行シタルトキ

二 第二十五條ノ規定ニ違反シ株式ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受ケタルトキ

三 第三十二條ノ規定ニ違反シテ配當ヲ爲シタルトキ

四 本法ニ定メタル主務大臣ノ裁定ヲ遵守セザルトキ

第九十條 過料ノ徵收ニ關シテハ非訟事件手續法ヲ適用ス

補則

第九十一條 一個人又ハ一會社ニ於テ個人ノ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十二條 第十六條ニ定メタル期間ハ舊商法ノ規定ニ從ヒ會社ノ設立ヲ爲ス場合ニハ免許ヲ受タル日ヨリ一箇年トス

第九十三條 第二十五條ノ規定ハ本法施行前ニ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ受ケタル株式ニ付テハ之ヲ適用セス

第九十四條 第三十一條ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル債務ニ付テハ之ヲ適用セス

第九十五條 第三十三條ノ規定ハ本法施行前ニ設定シタル質權ノ效力ヲ妨ケス

第九十六條 第七十三條第二項、第七十四條ノ規定ハ本法施行前ニ免許ヲ受ケタル鐵道ニ付テハ會社ト協議ヲ經タル上ニ非サレハ之ヲ適用セス
第九十七條 私設鐵道株式會社ニハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ特別ノ規定ア

ルモノヲ除クノ外商法及其ノ附屬法令中株式會社ニ關スル規定ヲ適用ス
第九十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
私設鐵道條例及明治二十八年法律第四號ハ之ヲ廢止ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、……議長
指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ前ノ第一ノ日程ト同一委員ニ付託シタイト
思ヒマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○伯爵坊城俊章君 如何デゴザイマセウカ、マダ委員會ヲ開キマシテハ……
○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 日本勸業銀行法中改正法律案、政府提出、第一讀
會ノ續、特別委員長報告

〔侯爵細川護成君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護成君 日本勸業銀行法中改正法律案、此勸業銀行法ノ改正ハ第
十三條ノ削除ト第三十四條ニ一項ヲ加ヘマスル此二箇條ノ改正デゴザイマ
ス、此第十三條ヲ讀ンデ見マスルト「株主ノ議決權ハ十株ニ付キ一箇トス但
シ十一株以上ヲ有スル株主ニ在リテハ五十株ヲ増ス毎ニ一箇ヲ加フ」他人ノ
代理ヲ爲ス者ハ五人以上ヲ代理スルコトヲ得ス又其ノ株數ハ總株數ノ十分ノ
二以上ヲ超過スルコトヲ得ス」ト斯ウアリマス、ソレデハ株主ノ議決權ノ
コトデアリマシテ、十株チ一箇トシテ十一株以上ハ五十株ヲ増ス毎ニ一箇ノ
議決權ヲ得ルト云フコトニナッテ居ル、又此代理ノ方ハ「他人ノ代理ヲ爲ス者
ハ五人以上ヲ代理スルコトヲ得ス」ト云フコトニナッテ居リマスルガ、之チ
元ト斯ウ云フ風ニ議決權ヲ十株ニ附キ一箇トシ又十一株以上ノモノハ五十株
毎ニ一箇ノ議決權ヲ得ルト云フコトニシマシテ理由ハ、元ト此勸業銀行ノ創
立ノトキニ當リマシテ澤山ノ大株主ガ出來マスル場合ニ專横ノ弊ヲ防ギマス
ル爲ニ斯ウ云フコトニ改マッタノデアリマス、然ル所實際今日デハ株主ノ數
ガ五六千アリマシテ總會ニモ出席セラル、人ハ僅カ百四五十人位ノモノダト
云フコトデアリマス、ソレデ之ヲ五人以上チ一人デ代理スルコトヲ得ズトシ

テ置キマスルト、其出席サレタル株主ガ一人ガ五人ヅ、代理シタト見マシテ
モ餘計ナコトニハナラヌ、五六百位ノモノニナル譯デアリマスカラ、實際是ハ
今日ノ所誠ニ不便デアルト云フ所カラシテ斯ウ云フ改正ガ出來タト云フコト
デアリマス、又此初ノ所ニ當リマシテ此十三條ヲ削除ニナリマスルト矢張り
商法ノ何條デゴザイマスカリコハ能ク覺エマセヌカ、商法ノ規定ニ從ヒマシ
テ一株一箇ト云フコトニナルノデアリマス、而シテ若シ又今ノ場合デハ不便
デアルガ若シ大株主ノ澤山出來マシタ場合ニ至リマス、ソレハ株ノ賣買ハ
出來ルモノデアリマスカラ、大株主ガ後日出來ヌトハ言ハレマセヌカラ、出
來マシタ場合ニハ又斯ウ云フ十一株以上ノ株主ニ在ッテハ五十株以上一箇ヲ
加ヘルト云フ制限ガ必要デハナイカト云フ質問ガ出マシタガ、ソレハ商法ニ
規定ガゴザイマシテ、十株以上ノ者ノ制限ハ定款ニ依ッテ其制限ヲ付ケルト云
フコトガ商法ニ明記サレテアルノデアリマスカラ、是ハ削除ニナッテモ少シモ
差支ナイト云フコトデアリマス、又此三十四條ノ方ハ是ハ債券發行ノ場合ヲ
規定シタノデアリマシテ、是ハ「商法第百九十九條ノ規定ヲ適用セス」トアリ
マスガ、此百九十九條ノ規定ハ斯ウ云フコトガ規定シテアルノデアリマス、
「社債ハ第二百九十九條ニ定メタル決議ニ依ルニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得
ス」其商法ノ二百九十九條ニハ斯ウ云フコトガアルノデアリマス「定款ノ變更ハ
總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當タル株主出席シ其議決權ノ過半
數ヲ以テ之ヲ決ス」ト云フコトガアリマシテ、ソレガ又一項二項ト附イテ居
ルノデアリマス、此勸業銀行ニ於キマシテ勸業債券ヲ發行シマスル場合ニハ
此商法ノ第百九十九條、即チ「社債ハ第二百九十九條ニ定メタル決議ニ依ルニ非
サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス」トアリマシテ、其二百九十九條ニハ「定款ノ變更
ハ總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當タル株主出席シ其議決權ノ過
半數ヲ以テ之ヲ決議ス」トアル、詰リ之ヲ適用シナイト云フコトデアリマス、
ソレデ委員會ニ於キマシテハ段々質問モ致シマシタ末、此改正案ハ尤ナ改正
デアルト云フコトデ、殆ド委員會一致デ可決ニナリマシタ次第デゴザイマス、
是ガ委員會ノ御報道ヲ申上ゲマス、此案ハ政府案デモゴザイマスルシ政府委
員モ出席ニナッテ居リマスルカラ御質問デモアレバ政府委員カラ御答辯ニナ
ルコトト存ジマスルデ委員會デ可決シマシタ次第ヲ簡短ニ御報道致シマス
○子爵小笠原壽長君 此案ハ諸君ニ於テモ御異議ハナカラウト思ヒマスカラ
讀會ノ順序ヲ省略シテ議決セラレムコトヲ希望致シマス
○子爵新莊直陳君 贊成

○松永安彦君 賛成

○山田卓介君 賛成

○伯爵勸修寺顯允君 賛成

○南郷茂光君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議が成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 裁判所及臺灣總督府法院共助法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵錦織教久君演壇ニ登ル〕

○子爵錦織教久君 裁判所及總督府法院共助法案ノ特別委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、此委員會ニ於キマシテハ一昨十三日正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ昨十四日ニ委員會ヲ開キマシタ、政府委員ヨリモ一通リノ説明モゴザイマシテ、委員ニ於キマシテモ二三ノ質問ガゴザイマシタガ、此案ヲ提出ニナリマシタ理由ト云フモノハ、從來臺灣總督府法院ニハ民事刑事事ノ訴訟事件ヲ司掌スル所ノ法衙デアリナガラ裁判所構成法ガ準用サレテアリマセメカラ、總テ通常ノ裁判所トハ其組織ヲ異ニシテ居リマスルカラ、事務ノ取扱上總テ聯絡ガ開ケマセメカラシテ、今般右法案ガ提出ニナリマシタ次第ゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ一ノ異議ナク全會一致ヲ以テ原案通り可決スベキモノト議決致シマシタ、此段御報道致シマス、此法案ハ至ッテ簡單ナモノデゴザイマスカラ、讀會省略ヲ以テ可決セラレムコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 賛成

○色部義太夫君 賛成

○廣瀬和育君 賛成

○名村泰藏君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○小原重哉君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ハ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 重要物產同業組合法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔伯爵勸修寺顯允君演壇ニ登ル〕

○伯爵勸修寺顯允君 委員會ノ經過及結果ヲ御報道致シマス、此案ハ衆議院ヨリ提出ノ案デアリマスガ、其先ニ明治三十年ニ重要輸出品同業組合法ト云フモノガ制定ニナッテ居リマスルガ、ソレハ單ニ輸出品ニ止マルコトデアリマシテ今日ノ場合ニ於テハ單ニ輸出品ノミナラズ輸出セザル物モ同業組合法ト云フモノヲ持ヘメケレバナラヌ、是ガ必要デアルト云フノデ此案ガ出タノデアリマス、此案ハ政府トモ段々交渉ノ上デ成立ッタ案デアリマスルシ、又政府モ既ニ此法案ヲ提出シヤウト云フニ當ッテ衆議院カラ是ガ出マシタノデアリマスカラ政府モ全然此案ニハ同意ヲ表シテ居ルサウデアリマス、ソレ故ニ此案ハ輸出品同業組合法ヲ本ニシテソレカラ段々修正ニナッテ居ル案デアリマスカラ、元ハ輸出品ノ組合法カラ成立ッテ居ルノデアリマス、大體ニ於テハ餘計異ッタ所ハアリマセメガ、少シク不完全ナル所ノ補ガアリ、或ハ字句ノ修正ガ出來テアリマスノデ、其モノニ至ッテハヒドイ異リハナイノデアリマス、先ヅ最初第三條ノ所ニ元ノ輸出品同業組合法デ見マスルト各種ノ營業者ノ五分ノ四ノ同意ガ要ルト云フコトガアリマスルカ、今度ノハ三分ノ二以上ノ同意ヲ要スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハ五分ノ四ノ同意ヲ求メナクテモ三分ノ二ノ同意ガアッタナラバ十分行レルコトデアラウ、五分ノ四デハ餘リ多過ギハセメカト云フ所カラ是ガ改ッタ様子デゴザイマス、尙ホ其他近頃出マシタ所ノ產牛馬法案、耕地整理法、其他之ニ類似ノモノモ多クハ三分ノ二ニナッテ居ルカラ是モ三分ノ二ニシタカ宜カラウト云フコトデ三分ノ

ニ改ツタト云フコトデゴザイマス、ソレカラ輸出品ノ方ノ第三條ニ二項が附イテゴザイマスガ此二項が今度ノ案デハ削ラレテアリマス、其削ラレタニ項ハ外ノ條ニ加ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ第五條ト云フモノガアリマシタノガ全ク削ラレマシテ元ノ第六條が今度ノ第五條ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ今度ノ第六條ト云フモノハ新シク這入ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ハ全ク新シイモノデハナイ、アチコチカラ少シ宛取合セテ這入ッテ居ルノデ、ソレカラ第八條ハ輸出品ノ方ノ第八條デハ少シク其區域ガ足ラヌカラ、モウ少シ之ヲ補フノ文章ヲ加ヘルガ宜カラウト云フノデ、是ハ大分文章ガ變ッテ今度ノ第八條ハ出來テ居ルノデアリマス、ソレカラ今度ノ第十條ハ元ノ第九條ト第十條トヲ合シテ今度ノ十條ガ作ラレテ居ルノデアリマス、ソレカラ其前ニ第三條ノ第二項ノ削ラレマシタノハ今度ノ第十四條ノ所ニ元ノ第三條ノ二項が這入ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ第七條第八條ハ今度新シク項ヲ爲シタノデアリマス、ソレデ順次元ノ第十二條ハ今度ノ第十九條ニ改リ、十八條ハ元ノ二十條ニ改ッテ、元ノ第十九條ハ全ク削除ニナッタノデアリマス、是ハ自然ノ結果目的ガ變リマシタノデ削除ニナッタノデアリマス、全ク新シイノハ此附則ニアリマス所ノ二十一條二十二條二十三條ガ新シク今度這入ッタノデアリマシテ、大體ノ所ハ餘計變ッテ居ラヌノデアリマス、依ッテ委員會ニ於キマシテハ別段異議モゴザリマセズ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト決シマシテゴザイマス、此各條ニ附キマシテ御質問モアラウト考ヘマスガ、本員ノ爲シ得ルダケノ御答辯ハ致シマスガ、元ト此輸出品同業組合法カラ成立ッタモノデ、大分ソレト參照ナセヌナラヌノデアリマスカラ、是ハ本員ガ御答致シマシテ答辯ノ要領ヲ得ヌヤウナコトガアリマシテハ如何ト思ヒマスカラ、御質問ノ所ハ政府委員ヘ御質問アラムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御質問ガナケレバ採決致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○伯爵勸修寺顯允君 議事日程ヲ變更シテ直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵通衛篤磨君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二讀會ニ移リマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○子爵小笠原壽長君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ三讀會ニ移リマス、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 自家用醬油稅法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔侯爵細川護成君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護成君 自家用醬油稅法案ノ委員會ノ有様ヲ御報道ニ及ビマス、此自家用醬油稅法案ハ衆議院ヨリ提出ニナリマシタ案デゴザイマシテ、是ハ元ト此第三條ニ規定シテゴザイマスル第四種ノ五石以下ト云フノデ第三條ニハ止メテゴザイマスガ、今日ハ一石以上ノモノハ皆是ハ矢張り、醬油稅則ニ依ッテ課スルコトニナッテ居リマス、五石以上ト云フノハ殆ド少イト云フコトデアリマシテ、五石以上ニナリマスレバ最早是ハ醬油稅則デ課稅シテモ宜イガ五石以下ト云フノハ……モノガ多イカラ斯ウ云フ醬油稅法ヲ持ヘテ是デ一々規定シヤウト云フ所カラ斯ウ云フ案ガ出來タノデアリマス、昨年ノ調査ニ依ッテ見マシテモ平均シマス大概一年ノ釀石高ガ一石以上二石クヲキノ間ノ平均ト云フコトデアリマシテ、五石以上ト云フモノハ減多ニナイ、五石以上ニナリマスレバ是ハ今日發布ニナッテ居リマス醬油稅則ニ據ッテ少シモ差支ヘルコトハナイ、ソレデ五石以下ダケハ制限ヲ附ケルガ宜イト云フノデ此案ガ出マシタノデアリマス、ソレデ元ノ醬油稅法ノ案デゴザイマスルト、此釀石高ノ割合デ稅ヲ納メルコトニナッテ居リマスルカラ、例ヘバ一石八斗ヲ造リマスルモノハ一圓八十錢ト云フヤウナ規定ニナッテ居リマスガ、此案デゴザイマスルト二石未滿ハ幾ラデモ一石八斗デアラウガ一石五斗デアラウガ皆

是ハ一圓ト云フ規定ニナツタノデアリマス、サウシタ方ガ餘程手數モ省ケテ宜イト云フコトデ斯ウ云フモノヲ衆議院デ提出ニナリマシタノデゴザイマス、ソレデ又此納稅ノコトニ致シマシテモ例ヘバ第四條ニ「製造稅ハ之ヲ二分シ其ノ年十月及翌年三月ヲ以テ納期トス」トアル、醬油稅則ノ方デ見マスルト、ソレハ三度ニ取立テルコトニナツテ居リマス、爰ニ醬油稅則ハ持ッテ居リマセヌガ、併シ是ハ此案デゴザイマスルト二度ニ取立テルト云フコトニナル、サウシテ造石高ニ應ジテ取立テルモノデナクテ矢張り其定額ヲ定メテ取ルノデアリマスカラ、此納期ヲ二度ニシテ少シモ是デ官廳ノ方デ差支ヘナイト云フノデアリマス、ソレカラ又此法案デ矢張り檢査ナスルト云フコトモ届出デヌ者ガアルト自然不取締ニナル次第アルカラ、第六條ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、第七條第八條、是ハ醬油稅則ノ規定ノ罰金ノコトガ出テ居リマス、是ハ矢張り醬油稅則ニ準ジテ行ツタモノダト云フコトデアリマス、ソレデ此五石以上ノモノハ此醬油稅則ニ依ッテヤリマスカラ此醬油稅則ト此法案トノ關係ヲ附ケマス爲ニ一條ト十二條ノ規定ガ出來テ居リマスノデ、即チ此法デ免許ヲ受ケマス者ニハ醬油稅則ヲ適用シナイ、又此醬油稅則ニ關シマスルモノハ此法ニハ據ラヌト云フノデ爰デ其區別ヲ立テタノデアリマス、是ハ衆議院案デゴザイマスルガ政府ノ意向ヲ尋ネテ見マシテモ此案ガ通過致シマシテ此通リニナリマシテモ少シモ政府ニ於テハ異議ハナイト云フコトデアリマシテ、實際此方ガ却ッテ便利デアラウト云フ所カラ致シマシテ委員會ニ於キマシテハ可決スベキモノト決シタノデアリマス、ソレダケヲ御報告ニ及ビマス、是ハ又讀會省略デ可決アラムコトヲ希望致シマス

〔贊成「ト呼フ者多シ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ成立ツタモノト認メマス、之ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、本案御異議ナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔侯爵細川護成君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護成君 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案、是ハ此所ニ書イテゴザイマスル通りニ「附屬輸入稅表第二種五〇五ノ次ニ「五〇五ノ一コブラ」ヲ加フ」此ニ於テ申シマスモノハ南洋諸島カラ輸入シマス椰子ノ油デゴザイマシテ至ッテ少イモノデゴザイマス、之ニ附キマシテ委員會ニ於キマシテ審査致シマシタル結果ハ此案ヲ否決スベキモノト決シタノデアリマス、其理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、此ニ於テ申シマスモノハ矢張り何カシヤ、ぼんの原料ダト云フコトデアリマシテ、此ニ於テ免稅スルト云フコトニ附テハ政府ニ於テモ少シモ反對ヲサレナイ譯デアリマス、併ナガラ是ハ委員會ニ於キマシテ否決致シマシタル理由ハ此ニ於テ油ノ原料トシテ輸入致シマスレバ外ニモ又續々免稅シナケレバナラヌモノガ、之ニ類シタ物ガ澤山アル、殊ニ既ニ願出デテ居ルモノモアリマス、ト云フコトデアリマス、ソレデ一體關稅定率法ハ一昨年デアッタト覺エマスガ、一昨年漸ク此帝國議會ヲ通過致シマシテ成立チマシタル案デアリマシテ、其後昨年モ一度カ免稅ノ改正ガ出マシタヤウナ次第デアリマシテ、マダ此法律案ノ實施後僅カ日モ淺イノニ續々免稅ト云フコトニナリマシテハ誠ニ不都合ナ譯デ、マア此二三年モ此法案ヲ實施シテ見マシテ、ドウシテモ之ヲ免稅シナケレバナラヌト云フヤウナコトデアリマシタレバ兎モ角モ、マダ今日之ヲ早速ニ免稅致シマセヌケレバ其事業家が立行カヌト云フ譯ノモノデモアリマセヌカラ、サウ毎年毎年是モ免稅シナケレバイカヌ、ソレモ免稅シナケレバイカヌト云フヤウナ譯デ毎年毎年免稅ニナリマシテハ限リモナイ話デアリマス、殊ニ又此ニ於テ云フモノノ免稅ハ決シテ政府デハ反對ハナイ、僅カ一年ノ稅額ニシテ僅カ四五千圓位ノモノダト云フコトデ決シテ之ニ反對ハサレマセヌケレドモ、是ガ一ツ免稅ニナリマスレバ又他ニ續々是モ免稅シテ貰ハナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、續々サウ云フモノガ出テ來ルコトニナラウト云フコトデ、殊ニ又唯今モ申上ゲマスルヤウニ此法律案ノ實施ノ後、僅カ日モ淺イニ、サウドウモ刻ミニセズトモ先ヅ二三年ノ間、之ヲ據置キマシテ是デヤッテ見テ實際ドウシテモイカヌト云フ曉ニナツタラ免稅シテモ宜イト云フヤウナコトガアリマスレバ此ニ於テ免稅ナスルト云フコトニスル、是ハ決シテ免稅スベキモノデナイト云フヤウナ議論デハナクシテ、先ヅ是ガ一ツ通レバ又外ニ續々免稅シナケレバナラヌト云フヤウナコトガ出テ來ルニ依ッテ、今二三年ハ此據置イテ然ルベキコトデアルト云フ點ヲ以テ委員會ニ於キマシテハ否決ニナリマシタ次第デアリマス、是ガ委員會ニ於キマシテ否決致シマシタル理由デゴザイ

マス、此事ヲ御報道致シマス

○村田保君 少々委員長ニ質問致シタウゴザイマス、唯今ノ委員長ノ御報告ニ據リマスルト此てふらト云フモノハ政府ニ於テモ免稅ニ不同意ハナイケレドモ、委員會ニ於テハ之ヲ許スト云フト、他ニ又續々免稅ヲ願出ルコトニナルカラ、サウ云フコトニナッテハナラヌ、ソレデ此法案ハ一昨年出タバカリデアル、ソレニ之ヲ變ヘテハナラヌカラ二三年ハ此儘ドウシテモ變ヘヌト云フ御主意デゴザイマスネ、然ル所此工業上ノ發達ノ爲ニ原料ナルモノガ段々向カラ這入ッテ來ルノニ、其原料ヲ以テコチヲ製シナケレバ製造品ハ外國カラ續々這入ッテ來ルト云フヤウナ場合ニ、斯ノ如キ場合デモ如何様ナ事情ガアッテモ免稅ハ許サヌト云フ御主意デアリマスカ

○侯爵細川護成君 村田君ニ御答致シマス、今ノ御話ノ中ニ二三年ハドウ云フコトガアッテモ免稅ハドウシテシモナイト申シタヤウニ御話デゴザイマシタガ、サウ云フコトヲ申述ベタノデハナイノデアリマス、先ヅ是デ措イテモ少シモ差支ハナカラウ、是デ今日是非ドウシテモ免稅シナケレバナラヌト云フ必要ハナカラウト云フ所カラシテ委員會ニ於テハ否決シタノデ、ドウアッテモ二三年ハ免稅シナイト云フ意味デハナイノデアリマス

○村田保君 ソレデ昨年モ、既ニ一昨年ノ法律ガ昨年既ニ免稅ニナッテ居ルモノガ段々ゴザイマスガ、ソレハ如何デゴザイマスカ

○侯爵細川護成君 ソレハ私ハ知リマセヌ

○子爵谷干城君 政府委員ニ今ノコトニ附テ御尋シタイコトガアリマス、收入ガ減ル御見込デアリマスカ、少シモ減ラヌト云フコトハアルマイガ何程位減ル見込デスカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 五千圓……

○村田保君 本員ハ免稅スベキモノト思フ、ナゼト言ヒマスルノニ此てふらト申シマスモノハ椰子ノ油ト言ハレマシタガ椰子ノ油デハナイ、或ハ油ナラバ免稅センデ宜イカモ知レマセヌガ、サウデナイ、椰子ノ油ヲ取ル原料デアリマス、椰子ノ皮デアル、椰子ノ皮カラ油ヲ取ルモノデアリマス、其原料デアリマス、原料ノ原料デアリマス、其油ヲ以テシ、ぼんヲ製スル、ソレデゴザイマスカラ原料ノ原料ニナルモノデ、本員杯ハ最モ此輸入稅ヲ免除シテヤリタイ、ト申シマスモノハ是ハ何所カラ來ルト云フト南洋諸島カラ來ルノデアリマス、南洋ノ諸島カラ來ルノハ、ナカナカ南洋貿易ト申シマスモノハ年々三四十萬圓ノ貿易ヲ致シテ居リマス、ナカナカ此南洋ノ貿易ト云フモノハ隨

分非常ナ困難ナシテ居ル、ソレ故ニ此南洋貿易會社ト申シマスモノモ以前ハ幾ツモゴザイマシタ、今日ハ二ツシカナイ段々減シテ來マス、然ル所ドウモ此南洋ノ貿易杯ト申スモノハ益々獎勵ナシナケレバナラヌモノト思ヒマス、ソレデ此し、ぼん杯ト申シマスモノモ今日ハ本邦デ段々出來マシテ、是マデ皆外國ノ輸入ヲ仰イデ居ッタガ、此油ガ段々這入リマシテ、コチラデ此てふラチ入レマシテ、サウシテ油ヲ段々製造シテシ、ぼんヲ拵ヘルヤウニナリマシタカラ、餘程輸入ガ減ズルバカリデナクシテ本邦ノし、ぼんヲ朝鮮或ハ支那ヘ輸出スルト云フ景況ニ今日ハナッテ居リマス、ソレデ油ヲ製造致シマス所杯ト申スモノハ既ニ此輸入稅ガアル爲ニ餘程困難ヲ感ジテ、從前ハ六箇所モ製造スル場所ガアッタガ、近年ハ……昨年ハ四箇所ニ減ジテ居リマス、斯ノ如ク輸入稅ノアル爲ニサウ云フ景況ヲ來タシテ居リマスカラ是ハ衆議院ニ於キマシテモ全ク全會一致デ通ッテ居リマス、政府ニ於キマシテモ既ニ此十日ノ速記録ヲ御覽ニナリマス分リマスガ、田中君カラノ質問ニモ政府委員モ此輸入稅ヲ免除シタラ自然ニ工業上ノ發達ニモ大ニ都合ガ宜シイ、政府ハ同意ヲ表シテ居ルト云フコトモ此議場ニ述ベラレタノデアリマス、政府モ同意ヲ表シ衆議院滿場一致ヲ以テ通過シテ居ルクラキノモノデアリマシテ、僅カ是ガ年々原價デ四萬圓、一割ノ稅ガ課リマスカラ四千圓バカリノモノダサウデアリマス、僅カ四五千圓クラキノ稅ヲ免除シテヤッテ、サウシテ日本ノ工業ガ發達スルト云フコトデゴザイマスレバ何モ免除スルノガ惜シイコトハナイダラウト思ヒマス、然ルニ委員長ノ先程述べラレマシタ所ニ依ルト、此稅ヲ免ズルコトニスルト復タ今後モ他ノモノヲ改正スルヤウニナルト言ハレマシタケレドモ、既ニ昨年ハ如何デゴザイマシタカ、僅カ一年モ經過セヌ中ニまっちノ原料モ輸入稅ヲ免除スル、肥料モ其通り免除スルト云フ建議案ガ既ニアル、シテ見マスルト之ヲ免除シテヤリマセヌデハ昨年ト今日トこぶらト權衡ヲ比較シマスト甚ダ不公平ニナル、昨年ノ肥料其他まっちノ原料ニ對シテ輸入稅ヲ免除スルナラバ、ドウモ椰子ノ油ヲ製造致シマスル原料ナルてふナルモノモ免除シテ昨年ト權衡ヲ保ツノハ當然ノコトデアリマス、ソレ故ニ政府モ此事ニ附イテ十分賛成ノコトト考ヘマスカラ、委員會ノ報告ハ甚ダ理由ノナイ報告ト存ジマス、ソレ故ニドウゾ衆議院カラ回りマシタ原案ノ通り通過アラムコトヲ偏ニ希望致シマス

○渡邊洪基君 村田君ノ說ニ賛成致シマス

○宮本小一君 村田君ニ賛成致シマス

〔田中芳男君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 田中君

〔子爵谷干城君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 田中君ニ發言ヲ許シマシタ

〔田中芳男君演壇ニ登ル〕

○田中芳男君 私ハ此特別委員ノ一人デゴザイマシテ、此度否決ニナリマシタル理由ニ附キマシテ委員長カラ委シク御話モゴザイマシタガ、尙ホ蛇足ヲ添ヘテ一言申述ベテ置カウト思ヒマス、成ル程唯今村田君カラ御述ベノ通り工業上ノ原料ニハ違ヒナイ、併ナガラ此ニ付ラト云フモノヲ少シ御話シテ置キマセヌト分リマセヌ故ニチツ御話ヲ致シマス、こゝらト申シマスモノハ、斯ウ云フモノデアル、(實物ヲ示ス)是ハ椰子ノ實デアル、此外ニ皮ヲ被ッテ居ル、其中ニ斯ウ云フ仁ガアル(實物ヲ示ス)此仁ヲ以テ取リマシタ油ガ椰子油デアル、併シ椰子油モ輸入ニナリマス、之ヲ此儘輸入シマスレバ一ツノ種デアリマスカラ、ソレナラバ五分稅デ這入ッテ居リマス、所ガ何デ之ヲ打壞ハシテ中ダケ持ッテ來ルカト云フコトヲ考ヘマスト、此皮ハ西洋ヘ持ッテ行ッテ一ツノ紐釦ノ原料トナス故ニ此皮ヲアチラヘ持ッテ參リマス、ソレ故ニ皮ヲ取ッタアトノ滓、ゴミクダヲ以テ工業上ノ材料トナル油ヲ製造スルモノデアリマスカラ、成ル程工業上ニハ有難イモノデ、ソレガ爲ニ良イ油モ出ルニ違ヒナイ、併ナガラ今申ス通り種トシテ輸入シテ來レバ五分稅デ濟ミマスカラ御心配ニ及バヌ、所ガ壞ハス故ニ稅ガ重クナルカラ此事ヲ言出シタ、若シ油ノ原料が必要ト云フナラバ、今榮種ナリ荏胡麻ナリ輸入シテ居ル、若シ之ヲ油ノ原料トシテ免スナラバドウシテモ十萬圓モ這入ッテ居ル油ノ原料モ免サヌケレバナラヌ、此度ノ案ニハこゝらダケ書イテアルガ、之ニ書足シテ共ニ免スコトニセヌナラヌ場合ニナル、ソレハヨシヤ言ハヌニシタ所ガ必ズ是ガ免稅ニナレバ其他ノモノモ免稅ヲ言出スカラ又明日ハ關稅率ニ手ヲ著ケナケレバナラヌコトニナル、今申上デマシタ通り日本人ガ若シ之ヲ此儘輸入シテ、サウシテ此皮ヲ以テ紐釦ニスルトカ、若クハ此外ニ被ッテ居ル皮ヲ以テ靴拭ヲ拵ヘルトカ、皆樣ガ現ニ靴拭ニセラレテ居ルモノハ此皮デ造ッテアル、皆樣ガ附ケテ居ラルル所ノ紐釦外套ノ紐釦モ是デ拵ヘテアル、ソレハ歐羅巴カラ持ッテ來テ稅ヲ出シテ居ル、若シ日本人ガ是トモ輸入シテ此皮ヲ以テ紐釦ヲ拵ヘルトカ外皮デ靴拭ヲ拵ヘルコトニナリマシタナラバ、工業者モ便利デ工業ノ發達モ一層盛ニナル、願ハクハ工業者ガサウ云フ風ナコトニ目ヲ著ケ

テ御賞ヒ申シタイ、工業上ノ發達ヲ圖ルナラバ是非共ソコマデヤッテ御賞ヒ申シタイト思ヒマス、又元來椰子ハ日本人ハソコヲニ生エテ居ル野ニアル草ノヤウニ思ッテ居リマスガ、決シテサウデハナイ、之ヲ栽培致シマス所ハ椰子畑ヲ拵ヘテ餘リ乾燥シタトキハ水ヲ注イデヤルト云フ風ニ餘程保護ガ至レリ盡セリデアル、日本デモ今小笠原島ナリ沖繩ナリ又臺灣地方ニモアリマスケレドモ、之ヲ保護スルノ念慮ガナイデ、自然的ニ任シテ居ルカラ、ドウシテモ澤山拵ヘルコトハ出來ヌ、若シ此樹木ヲ多ク栽培シテ、サウシテ十分こゝらヲ拵ヘテ外國カラ輸入セヌヤウニナレバ如何ニモ我國ノ利益ニナル、所ガ惜シイカナ他カラ持ッテ來ルモノバカリヲ當テニシテ我邦デ澤山作ッテ之ヲ何ニモ利用スルト云フ念慮ガ薄イ、若シ之ヲ外國カラ持ッテ來ルコトバカリニ精神ヲ注ギマス我ガ沖繩ナリ臺灣ナリ之ヲ作ル方ノ獎勵ニ一向ナラヌ、故ニ願ハクハ日本ニ於テモ之ヲ澤山植エテ作ルヤウニ致シタイト存ジマスル、サウシタナラバ製造者ノ御便宜ニモナルデアラウト思フ、先ヅ是ハ是ダケ、擧サウ云フヤウナ理由デ一ツ開ケマスト折角極ッテ居ル定率ニ續々手ヲ著ケナケレバナラヌコトニナル、又此案ガ出タニ依ッテ序ニ是モクッ附ケテ貰ヒタイ、アレモクッ附ケテ貰ヒタイト云フ御話ガアレバ私共ハ皆御尤ト思フ、こゝらガ憎イトモ何トモ思ハナイ、又他ノ工業上ノ原料ト爲ルモノガ決シテ憎イトハ思ハヌガ、サウ云フモノガ續々出テ來テ、去年ヤリ損ッタカラ今年モ亦ヤリ損ハヌト云フコトハ言ヘナイ、去年ハヤリ損ヒデアル、故ニ今年ハヤリ損ヒハナイヤウニ致シタイト考ヘマス、且又工業上ノ材料ト爲ルモノナラ免稅スルト云フコトニナルト今軍艦ヲ拵ヘルナリ其他船ヲ拵ヘルノニ必要ナ物ハ何ダト云フコトニナルト云フ材料デアル、ソレハ中ニ澤山ニ輸入スルモノデ、ソレガ爲ニ軍艦ト云フモノモ日本デ出來ルノデ、然ラザルトキニハ日本デハ大イニ不都合ヲ感ズルケレドモ、幸ニ此ちこゝト云フモノガ來ル爲ニ便利ヲ得テ居ル、シテ見ルトドウシテモ是モ免稅ヲシテヤラナケレバナラヌト云フコトニナリマス、又麥酒ヲ造ルニハ麥芽ト云フモノガナケレバナラナイノデゴザイマス、今世間デ良イ麥酒ト云フノハ皆外國ノ麥芽ヲ使ッテ居ルノデゴザイマス、日本ノ麥デモ出來ルデハナイカ云フト成ル程出來ルニハ相違ナイ、併シ日本ノ麥デハ良ク出來マセヌカラシテ必ズ麥芽ト云フモノハ外國カラ輸入シナケレバナラヌ、シテ見ルト此麥酒製造ノ爲ニハ麥芽ト云フモノガ必要ノ材料デアルカラ麥芽モ免稅ニシテヤラナケレバナラヌト云フコトニナリマス、其他工業上ノ材料ヲ拵ッテ見ルト澤山ニ拾揚ゲルモノガアリ

マス、ソレヲ悉ク研究シタ上デ是くハ免税シナケレバナラヌト云フコトニシタナラバ或ハ公平ヲ得ルカト思ヒマスガ、今急ニ迫ラレタラ一ツ免除スル、明日又迫ラレタカラ一ツ免除スル、明後日迫ラレタカラ又一ツ免除スルト云フヤウニ、毎日一ツ宛小刀刻ミニ免除スルノハ面白クナイカラ、願ハクハ他日斯様ナル工業ノ原料ヲ悉ク集メテ十分ニ此税目ヲ改正スル時ガ早晚來ルデアラウト思ヒマスカラ、ソレマデ待ッテ改正スルガ宜カラウト思ヒマス、ソレデ之ヲ今直グニ免税センデモ明日忽チ潰レルト云フモノデモアルマイカラ、先ヅ暫ノ間我慢シテ他日唯今申シマシタ免税スベキモノガ澤山ニアレバ十分ニサウ云フモノヲ寄セテ、十分ニ研究シテ然ル後ニ愈々免税ナスルト云フコトニシテモ晩カラヌコトト思ヒマス、何モてぶらガ憎イト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、左様ナ理由デ之ヲ否決致シマシタ、決シテ工業上ノ發達ヲ妨ゲルト云フヤウナ念慮ガアルノデハゴザイマセヌ、ドウゾ諸君ニ於テモ其邊ハ御承知ナ願ヒマス

○子爵谷干城君 私ハ危ナイコトデ村田君ニ贊成ナシヤウトシマシタノデアリマスガ、ソレデ能ク分リマシタ、ドウモ容易ニ贊成ト云フモノハ出來ナイ、ソレデ今ノ田中君ノ御説ヲ聞イテカラニ頗ル御同感デアリマス、是ハ決シテ急グコトデハゴザイマセヌ、ソレニ事柄ニ依ルト依頼者ト云フ者ニ頼マレテ、ソレカラ色々ノコトヲヤル、サウ云フヤウナコトガアルカラシテ衆議院カラ來タモノハ容易ニ判斷ナセラレヌ、ソレテ村田君ノ説明ヲ聞クト成ル程ト思フ所ガアッテ危ナイコトデ贊成ナシヤウト思ヒマシタガ、又田中君ノ説ヲ聞クト其方ガ尤ト思ハレマスカラ田中君ノ説ニ贊成ヲ致シマス、是ハ否決スベキモノト思ヒマス

〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

〔採決採決〕ト呼フ者アリ

〔政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(目賀田種太郎君) チョット一言説明ナ致シマス、衆議院ノ委員會ニ於キマシテモ、貴族院ノ委員會ニ於キマシテモ同一ノ御尋ヲ受ケタノデゴザイマスガ、政府ハ斯ノ如ク一ツニ時々ニ出デル修正ニ同意スルヤ否ヤト云フコトデアリマス、ソレハ其誠ニ困ル、何トナレバ此關稅法ハ内國ノ稅法ト違ッテ事ノ利害が大イニ外國トノ關係ノ厚イコトガアル、ソレデ此稅ヲ免ジ若クハ稅ヲ輕クシテ、我ニ利益アルコトモアルガ、又其爲ニ我ニ求ムベキコトナ或ハ失フ場合モアル、ソレ故ニ一ツ一ツノ修正ニ贊成スルコトハ大イ

ニ困難ヲ感ズル、サリナガラ是ハ又誠ニ小サイコトデアルカラ云々ト斯ウ申シタ譯デアリマス、其段ハ念ノ爲ニ説明ナシテ置キマス

〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ハ何デスカ

○村田保君 田中君ニ質問ナ致シタイノデス、田中君ハコチラデ段々ト此椰子ノ樹ヲ植エテ、向フカラ取ルヨリハ植エル方ガ宜カラウト云フコトデアリマスガ、其椰子ノ樹ヲ植エテ、ソレガ實ヲ結ブマデハ何年位デアリマスカ

〔ソレハ議論ダ〕又〔採決採決〕ト述フル者アリ

ソレカラ昨年免除サレタノハヤリ損ヒデアルト言ハレマシタガ、昨年肥料ノ免税ト云フコトガ出タトキニハ田中君ハ其委員トシテ最モ力ヲ盡サレタト思ヒマスガ、昨年田中君ガ……

〔ソレハ議論ダ〕又〔答辯スルニハ及バヌ〕ト述フル者アリ

免税ニ贊成サレタノハ間違デゴザイマシタノデスカ

○田中芳男君 村田君ノ御問ニ答ヘマス、椰子ト云フモノハ今年日本デ植エテ來年カラ其實ヲ取ルト云フヤウナコトハ出來ヌノデゴザイマス、唯サウ云フ精神ニナッテ貰ヒタイト云フコトヲ申シタノデゴザイマス、又昨年ノハヤリ損ヒダト申シマシタノハ關稅ノ目ニ疵ヲ附ケタノガヤリ損ヒダト云フコトヲ申シタ積リデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御論モ盡キタヤウデアリマスカラ採決シマス、第二讀會ニ移ルベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス

○子爵谷干城君 二讀會ニ移スベカラズト云フ方ハ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 起立シナイノデス

○子爵谷干城君 起タヌノデスナ

○議長(公爵近衛篤磨君) 左様デス、第二讀會ニ移スベシトスル諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、本案ハ否決ニナリマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 北海道水產稅則廢止法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕

○公爵二條基弘君 委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、此案ニ附キマシテ委員

會ニ於キマシテハ政府委員ト種々ノ應答モアリマシテ、能ク審査ヲ致シマシタ所、其結果遂ニ否決スベキモノト云フコトニナリマシタ譯デアリマス、其理由ハ目今北海道ノ形勢ヲ見マシタ所ガ、如何ニモ此斯ノ如キ水産稅ヲ漁業者ニ出サスルノハ氣ノ毒ナ譯デアッテ、一日モ棄置クベキモノデハアルマ、サリナガラ段々政府委員ノ答辯ヲ聞イテ見マスレバ明年度ヨリ之ヲ廢スルト云フ譯ニナッテ見レバ忽チ豫算ノ上ニモ關係ヲ及ボシテ來マス、隨ッテ此稅ヲ廢スレバ年ニ三十六萬圓ノ收入ガ減ジテシマフ譯ニナル、スレバ又其三十六萬圓ノ減ジタ所ヲ何ニ依ッテ滿タスカ、今ノ所デハ其財源ガナイト云フ話デアリマスルカラシテ、サウ云フコトニナッテ見マスレバ唯之ヲ廢シテ其收入ヲ減ジテ、詰リ國庫ノ爲ニハ不利ヲ來タス譯デアリマス、人民ノ爲ニハ氣ノ毒デアリマスケレドモ、國庫ノ收入ヲ減ズルニ附テハドウモ其財源ヲ見出サヌ以上ハ先ヅ暫ク此通リニシテ置カナケレバナラヌト云フ譯デアリマシタ、又内々政府ノ意向ヲ聞ケバイツマデモ此通リニ置クト云フ考デハナイ、其内ニハ何レ改正ヲシテ免除スルコトニナラウカト云フ趣モ聞エマシタ、右様ナ譯ヲ以チマシテ委員會ニ於キマシテハ一時ハ氣ノ毒デアアルケレドモ、先ヅ今日國庫ノ都合ヲ見タ所デハ唯今ソレヲ廢スルト云フコトハ宜シクナカラウ、即チ政府ニ於テ其内ニ改正ヲシヤウト云フ意デアレバ其方ノ意向ニ任カシテ政府ノ方デ早ク改正ニ著手シテ貰フト云フ望ヲ持チマシテ二名ニ對スル六名ノ多數ヲ以チマシテ否決ニナリマシタ、序ニ此案モ簡單ノ案デアリマスカラ讀會省略ヲ願ヒマス

○田中芳男君 唯今委員長ノ報告ニハ重ナルモノハ財源ガ無イカラ今急ニ三十何萬ト云フモノヲ免除シヤウト云フコトハナラヌト云フ單純ナコトデアリマシタガ、マダ外ニモ理由ガゴザリマスカ

○公爵二條基弘君 今ノ御尋ニ御答シマスガ、委員會デハ別段外ニ申上ゲル程ノ説ハアリマセヌ

○田中芳男君 政府委員ニ御尋シタウゴザリマスガ、此案ハ昨年モ議場ヘ現レマシタガ、不幸ニシテ消滅致シマシテゴザリマスガ、承リマス所ニ依レバー體稅目ノ立方ガ惡ルイトカ、北海道ノ稅ハ整理シテ居ラヌトカ、北海道ノ稅ノ整理ハ全般ニ行届イテ居ラヌトカ、云フコトデゴザリマスガ、然ラバ北海道ノ稅ハ何レ御整理ニナルニ相違ナイガ、イツノコトダカ分ラヌガ、ソレマデハ此稅ハ甚ダ不都合ダ、氣ノ毒ダケレドモ我慢シテ呉レ、先ヅ此儘ニシテ吳レド云フコトデハ實ハ際限ガナイ、北海道全般ノ稅ノ改正ハ大凡イツ頃ニ

ナリマスガ、三年ヤラ十年ヤラニナリマシテハ氣ノ毒モ氣ノ氣モ氣ノ毒ト云フコトニナリマスカラ、早ク御改正ニナルヤウニ致シタイガ、ソレハ今カライツ改正スルト云フコトハ御答辯ニナル譯ニハ行カヌカモ知レマセヌガ、其邊ハドウ云フ御見込デアリマスガ、實ハ此案ハモウ少シ十分ノ御調ニナルヤウニ致シタイ、從ッテマダマダ述べタイコトモゴザリマスケレドモ、先ヅ其邊ノ所ヲ伺ッテソレカラ意見ヲ述べヤウト思ヒマス

〔政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 田中君ニ御答シマスガ、北海道ノコトハ特リ租稅ノミナラズ一般ノ制度モ内地ト異ナッテ居リマシテ、即チ諸般ノコト皆國庫支辨ニナッテ居リマシテ、名ハ地方稅ト云フ名目ノ下ニ置イテ立テラレテ居ルモノモゴザリマスケレドモ、サリナガラ地方稅トシテハ支辨サレナイ、矢張り國庫ニ入レテ支辨セラレルヤウナ仕方ニナッテ居リマス、即チ村役場ノ如キモノモ國庫支辨ニナッテ居リマス、稅法ノ如キモ地租條例ノ如キ精神ハ行レテ居リマスケレドモ、其形式ニ於テハ甚ダ恰行レテ居リマセヌ、サウ云ウヤウナ譯デアリマスカラ唯一ツ其内ヲ引去ッテ之ヲ改正シ或ハ之ヲ廢止スルト云フコトハ未ダ其時デアアルマイト云フノデアリマス、一體ニ全部ノコトヲ整理スルト云フコトニ附キマシテハ又當局ノ一部ニ於テソレゾレ考慮モ煩ハシテ居ルコトモゴザリマスケレドモ、未ダイツヲ以テ其事ヲ定メラル、ト云フコトニ附イテハ政府ニ於テハ議ヲ定メタルコトハゴザリマセヌデゴザイマス

〔田中芳男君演壇ニ登ル〕

○田中芳男君 北海道ノ水産稅則廢止ノ法案ニ附キマシテ私ハ如何ニモ今日マデノ御調査ハ十分行届イタトハ思ヒマセヌ故ニ希ハクハ再調査ヲ致スヤウニ願ヒタイト云フ希望デゴザイマス、其理由ハ唯今政府委員カラモ承リ、委員長カラモ承リマシタケレドモ、詰リ此稅ハ今更之ヲ免除スルト云フコトハ極ク不都合ダト云フ御論モゴザイマセヌ、又政府トテモ北海道ノ稅ニ附イテハソレゾレ御整理ガアルデアラウト思フ、然ルニ此案ハ年々衆議院カラ提出ニナリマスノデ、其様子ヲ見マスルニ如何ニモドウモ其當チ得ナイ稅デアアルヤウニ私杯ハ考ヘマスル、シテ見マスルト之ヲ本年度ハ成ル程之ヲ免除シテハ既ニ豫算モ通過シタ後ダカラ致方モナイト言ハレマスガ、ソレデハ此次ノ豫算ヲ組ミマスルトキニ之ヲ免除スルコトニ致サレマシタナレバ出來ナイコトモナイデアリマセウ、若シモ財源ガ玆ニナイ以上ハアラユル此建議ニ關係シ

タルモノハ決スルコトが出来ナイト云フ斯ウ云フ御論ニナリマスルト此間ノ決議ニモ衝突スルヤウニ考ヘマス、ソレハ法律案デゴザイマセヌガ此間ノ決議シマシタ建議案デモ各金額ヲ要シナイ建議案ハ少イ、シテ見ルト、アレハ建議案ダカラ政府ガ採用スルカ採用シナイカ分ヲヌト云フ斯ウ申ス者モアリマスガ、兩院ヲ通過シタカラハ御採用ニナルコト思フ、其時ニ是ハ建議ハ通過シタ以上ハ是ハ何十萬ト云フ金ガ要ルカラ通過サレテハ困ルト云フ御異論モナカッタ、建議案ヲ出セバ通過スルガ法律デ出ルト通過シナイト云フコトニナルト釣合ガ惡ルイ、既ニ此朝鮮ノ鐵道ヲ至リマシテハ私ハ確ト覺エマセヌガ三十萬圓宛五箇年間要ルノニ、スラストラ通ッテシマッタ、未ダ其外建議案ニハ一萬ヤ二萬ノ金ノ要ル建議案ハナイコトハナイ、イツデモ出テ來ル、昨今續々出テ來ル建議案ニハ金額ヲ要シナイ建議案ハナカラウ、建議案ハ通過シテ此法律案ハ通過シナイト云フコトハ甚ダ訝シク考ヘマスルカラ、希ハクハ是ハ何年後チニハ免除シテヤル、今ノ所ハ急ニハ行カヌケレドモ三十四年ニハ出來ナケレバ三十五年ニハ是非トモ免除シテヤルト云フ方法ヲ講ジテ貰ヒタイ、議場デ之ヲ否決スルノ報告ガ出來マシタカラハ直チニ可決スルコトハ出來マセヌカラ、希ハクハ再調査ヲナサツテ是ハ是非トモ出來ルヤウナ方法ニナルコトヲ願ヒタイ、尤モ今申ス通り今年度ハ出來マスマイカラ來年度ナリ再來年度ナリデ北海道ノ稅目ノ修正ガ出來マスレバ其時ニ免除シテヤルト云フゴトニナリマスレバ年々歳々大勢ガ上京シテ費用ヲ使ッテ困ル上ニ困ルト云フ馬鹿ナコトヲセヌニ濟ムダウト思ヒマスカラ、ドウゾ再調査ハ御迷惑デアリマセウケレドモ何トカシテ途ノ附クヤウニ是ハ再調査再付託ヲ希望致シマスルカラ宜シク御同感ノ方ハ御賛成下サイ

○子爵谷干城君 私ハ矢張り此案ハ否決ト云フ方ニ賛成デアリマス、抑、此北海道ノ水產稅ト云フモノハ善イカ惡イカト云ヘバ私杯モ此稅法ノ上カラ感心シタモノトハ思ハヌ、併シ元ト北海道ト云フモノハ漁業ヨリ外ニ收入ハナイノデアアル、ソコデ此歷史上、漁業ハ著シイ發達ナシテ色々ノ收入ガアッタカラシテ、ソコデ今日カラ見レバ幾分か酷ナト云フヤウニ思ハル、稅ニナッテ居ルガ、ドウモ是ハ其北海道ノ歷史カラ已ムヲ得ヌノデアアル、例ヘテ申サバ地租ガ即チ明治六年ノ地租改正條例ニ於テカラニ段々ト彼ノ國稅ガ殖エルニ從ッテ地價百分ノ一ニシテヤルト云フコトヲ豫約サレテ居ル、ソレニモ拘ラズドウモ他ノ物ガ十分ニ發達セヌノデアアルカラシテハ今日マデ地租程酷ナ稅ト云フモノハナイ、如何ナ納稅ノ内ニモ又各國ノ例ニ比例ナシテ是程不都合ナ

稅ハナイ、又北海道ノガハ收穫ノ何分ノ一……百分ノ二十位ニ當ッテ居ルト見レバ隨分是モ酷ナヤウニハアルガ、地租ノ比例デ見ルト一向何デモナイ、是モ即チ地租ト同ジク歷史上一番低イ稅デアルカラ他ノ稅ガ發達セヌ以上ハドウモ之ヲ減ジヤウトスル、減ジラレタイト云フコトハ私杯モ認メテ居ル、ソレデ地租ト雖モ俄ニ長州ノ如ク……山口縣ノ如クニズツト下ゲテ百分ノ一ニナルマデニシテ貰ヒタイト云フコトハ言フノデハナイケレドモ、ドウシテモ是ハ今度上ツタ位ニ高ウシテハ次第ニ農業上ノ退歩スルコトハ明ナ證據デアル、ケレドモ是モ今申ス通り俄ニドウシヤウト言ッテモ仕方ガナイ、ソレデドウモ北海道ノ水產稅ト云フモノモ水產ガ本ニナッテ古イ歷史ヲ有ッテ居ルカラシテハ之ヲ除ケテ貰ッタラ北海道ノ即チ行政ト云フモノハ三十萬圓ノ穴ガ明ク、三十萬圓ノ穴ガ明イタトキハドウスルト云フニ三十萬圓ノ穴ハ稅則ノ上カラ之ヲ埋メニヤアナラヌコトニナル、故ニ若シ北海道ノ收入ガ段々殖エテ最早宜イト云フトキニナレバ之ヲ全廢スルモ宜シウゴザイマスガ、今日ノ勢デ來年ニナルカ來々年ニナルカソレハ分ルマイト思ハレル、ソナ條件杯ハ……先ヅ今日ノ有様廢スベカラザルモノト本員ハ考ヘマスカラ委員ノ報告ニ賛成致シマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 大體議論モ盡キタヤウデスカラ採決致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、本案ハ否決ニナリマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 滿期軍用馬匹ニ關スル建議案、伯爵坊城俊章君外四名發議、會議

滿期軍用馬匹ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十三年二月五日

發議者

伯爵坊城 俊章

伯爵勸修寺 顯允

男爵渡邊 清

木下 廣次

田中源太郎

贊成者

伯爵壬生 基修

外百二十三名

貴族院議長公爵近衛篤磨殿
滿期軍用馬匹ニ關スル建議

我カ國ニ於ケル馬匹ノ必要日ニ増加スルノ時ニ當リ民間ニ馬匹ヲ飼養スルモノ甚少ナシ故ニ一旦有事ノ日ニ方リテハ馬匹徵發ニ困難ヲ感スルヤ論ヲ俟タス大日本武德會ハ常ニ武技ノ修養ヲ謀リ殊ニ馬術ノ練習ヲ務ムルヲ以テ目的ト爲スカ故ニ政府ハ爾後毎年軍用馬匹ノ内使用滿期トナリタルモノヲ同會ニ下付シ同會ヲシテ之ニ依リ年々新馬ヲ調教シ之ヲ各地方支部ニ配置シテ軍用馬匹ノ豫備ニ供セシメハ一ハ以テ軍備ノ用ヲ充タシ一ハ以テ牧馬業ヲ獎勵シ施テ一般馬匹ノ闕乏ヲ補フニ足ルヘシ政府ハ此ノ事ヲ行フ爲速ニ相當ノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔伯爵坊城俊章君演壇ニ登ル〕

○伯爵坊城俊章君 諸君、滿期軍用馬匹ヲ下付ニナリマスコトニ附キマシテ發議ヲ致シマシタ、其理由ヲ簡短ニ申上ゲタイデゴザイマス、抑、我邦ノ馬匹使用ト云フコトハ諸般ノ上ニ於キマシテ日々著シク増加シマスルコトハ是ハ諸君ノ既ニ御承知ノ通りノコトデゴザイマス、又中ニ就キマシテ軍用馬匹ノ大ニ増加スルト云フコトハ軍備擴張ト伴ウテ増加セネバナラヌコトハ是ハ又申スマデモナイ、ソコデ此平時軍用馬匹ノ補充スラ尙ホ容易ナラザルコトハ隨分想像セネバナラヌコトデアラウト思ヒマス、如何トナレバ平時軍備ノ擴張ト云フモノハ即チ膨張ト云フベキ位デゴザイマスカラ、從ッテ馬匹ト云フモノハサウ立ロニ産レ、立ロニ調教ノ出來ルモノデアリマセヌカラ、誠ニ平常補充スラ隨分容易デナイト云フコトハ是ハ想像ヲ仕易キコトト思ヒマス、先ヅ一朝事アリマスル日ニ方ッテ徵發等ヲ致シマスル上ニ附キマシテハ誠ニ困難デアリマス、ナゼソレガ餘程困難デアルカト申スナラバ、例ヘバ茲ニ人民中ニ馬ヲ使用シマスル者ガ多クシテ徵發ノ折ニハ其頭數ヲ得マスコトハ隨分澤山アリ、求ムル所ノモノヨリ餘リアルト申ス位ノコトデゴザイマシテモ、此軍用馬匹ニ適合スルト云フコトハ實ニ少イモノデアリマス、如何トナレバ寸尺其他軍馬ノ素質ニ適スルモノハ少イ譯ニナリマス、況ヤ今日我邦ノ如ク人民間ニ馬匹ヲ使用シテ居ル者ガ少イ時ニ當リマシテ、實ニ一朝事アル時ニ其徵發ニ應ジマス者ハ少イト云フコトハ是ハモウ申スマデモナイコトデゴザイマス、之ニ附キマシテハ當局者ハソレゾレ經畫モアルコトデゴザイマスガ、是亦容易ニ一朝ニシテ爲スベキコトデナイト云フコトハ想像ノ出來ルコトデ

ゴザイマス、又牧場ニ於キマシテ其當業者ハ孜孜トシ又政府ニ於テモ十分經畫致シテ居リマスガ、如何ニセムナカナ一朝ニシテ爲スコトハナラヌ、又ナルト申シテモ十分ニ意ヲ用ヒナケレバ出來ヌコトハ分ッタクコトデゴザイマス、サウシテ見マスルト此處デ軍備擴張トカ何トカ言ウテ人ノ頭數ガ揃ヒ、馬ノ頭數ガマアカツカツ揃ッタク云ウテ居リマス所ガ、ソレハ平時ノコトデ、迎モ一朝事アル時ノ豫備ト云フモノハ全クナイコトニナルト言ハザルヲ得ヌ、誠ニ爰ヲハ能ク注意シマセヌコトニハ彼是ト事ニ臨ンデ差支ヲ起スコトハ申スマデモナイ、何トカシテ此豫備ト云フモノヲ拵ヘネバナラヌノハ茲ニ申スマデモナイ、皆サン御承知ノ通り馬ト云フモノハ直グ引ッ張り出シテ來テ間ニ合フカト云フニサウハイカナ、平常カラ調教アリ種々ノコトガ要リマスルモノデゴザイマスカラ、常ニ備附ケテ置カネバナラヌ、常ニ備附ケルノニハ莫大ノ金ヲ費サヌト到底出來ルコトデアリマセヌカラ、何トカ豫備ヲ作ル一方法ヲ執リタイト云フノ是ハ考デゴザイマス、幸ニ茲ニ武德會ト云フモノガゴザイマス、此武德會ノ性質ト云フモノハ既ニ諸君モ御承知デゴザイマセウガ、ソレゾレ人民ノ寄附金ヲ以チマシテ、ソレヲ土臺ニシテ常ニ武技ヲ研究致シマス、就中馬術ヲ研究スルヲ目的トシテ居リマス位ノコトデゴザイマス、之ニ年々陸軍ノ廢馬、即チ滿期馬デゴザイマス、滿期馬ヲ下付サレマスレバ武德會ハ此馬ヲ轉々シマシテ新馬ヲ購求シ其新馬ヲ調教シマシテ有事ノ日ニ備ヘマス、獨リ有事ノ日ノミナラズ諸演習ノ爲ニ徵發ニ應ジマスヤウニ致シマス、扱武德會ハ如何シテ斯ノ如キモノヲヤルカト云ヒマスレバ先ヅ試ニ豫メ經畫ヲ立テテ居リマスカラ、チヨット御話申上ゲマセウ、先ヅ二千頭ノ馬ヲ平常備ヘテ教育シマスルニハ一頭ニ附イテ十七圓ヨリ少クテハ行カナイ、十七圓ヨリ少クテハ行カヌト申シマスルト二千頭ノ馬ニ附キマシテ三萬圓餘ノ金が必要デゴザイマス、武德會ハ如何ニシテ其ヤウナ金ガアルカト云フ御考モゴザイマセウ、併シ武德會ハソレダケノ金ハ差掛ッテナイノデアリマス、ケレドモ此武德會ハ經濟ノ許ス限り己ガ買置キマシテ、己ノ經濟ノ許サヌモノハ他ノ人殊ニ地方ノ有志者ノ望ニ任カシテ無代價デ貸付ケ即チ條件附キ以テ貸付ケルト云フ方法ヲ執リマシタ、ソレデチヨット其計算ヲ假ニ申シテ見マスルト、例ヘバ此二千頭ノ……

〔子爵曾我祐準君「是ハ武德會ノ建議デハアリマスマイト思ヒマスカラ、ドウゾサウ云フ風ニ願ヒマス、貴族院ノ建議案ナラバ貴族院ノ建議案ヲシテ御議論アラムコトヲ希望致シマス」ト述フ〕

今御尋デアリマスガ、固ヨリ武德會ヨリ之ヲ建議シタノデハゴザイマセヌ、ケレドモ大凡ノ計算ヲ御話ヲ申上マセヌト

〔子爵曾我祐準君「貴族院トシテハ分リヤウガナイ……」ト述フ〕

〔子爵舟橋遜賢君「委シク御話ニナッタ方ガ宜シウゴザイマセウ」ト述フ〕

計算其外ノコトニ附キマシテハ提出者ノ中ニ委シク存ジテ居ル者モアリマスカラ……

〔子爵谷干城君「ドウカ詳ニ御話ヲ承リタイト思ヒマス、私共ハドウモ分ラナイ」ト述フ〕

〔子爵舟橋遜賢君「武德會ニ關スルコトデアレバ宜シイ、瑣末ナコトハ問ハナクテモ宜シイ」ト述フ〕

ソレデ年々廢馬ヲ下ゲラレムコトヲ希望致シマシテ之ヲ有事ノ日ニ備ヘタイト申スノガ精神デゴザイマス、尙ホソレニ附キマシテ政府ハ適當ノ方法ヲ講ゼラレマシテ若干ノ馬匹ヲ下ゲラレムコトヲ希望致スト申スノデゴザイマス……

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵近衛篤磨君） マダ坊城伯爵ハ濟マナイヤウデゴザイマスカラ、チヨット御待下サイ

○伯爵坊城俊章君 尙ホ之ニ附キマシテ御質問ガゴザイマスレバ委シイコトハ提出者ノ中ヨリ御答辯致シマス

○子爵曾我祐準君 今ノ陸軍ノ經畫ノ馬數ハ何萬頭デアリマスカ、ソレノ御調ガ附イテ居リマスカ、第二ニ年々滿期ニナル馬ノ數ハ幾アラリマスカ、第三ニ年々ノ廢馬ノ數ニ對シテ金ハ幾ラ位ノ價ニナリマスカ、此三箇條ヲ先ヅ御尋致シマス

○伯爵坊城俊章君 其御答辯ヲ申上ゲマセウガ、目下陸軍ノ馬匹ノ總頭數ノ所ハ十分申上兼ネマスガ、併シ年々廢馬ニナリマスノハ大凡二千頭デゴザイマス、此價ハ全ク豫算デアリマスカラ確實ニハ申上ゲラレマセヌガ、本年ノ豫算ノ如キハ競賣ニ付シマシテ一頭二十二圓何錢ト云フノデゴザイマス、豫算デゴザイマスカラ果シテ此通りニ參リマスカ參リマセヌカ分リマセヌ

○男爵伊達宗敦君 私ハ此建議案ノ理由書ノ中ニ書イテアルコトデ、未ダ御述ニナラヌコトガアルヤウニ思ヒマスカラ、之ヲ少シ伺ッテ置キタイ、ソレハ此理由書ノ中ニ陸軍省ノ軍用馬匹ノ中、使用滿期ニナルモノヲ武德會ニ下付

シ武德會ハ之ニ依リ年々新馬ヲ調教スルト云フコトガアル、是ハドウ云フヤウニスルノデアリマスカ、無論使ヒ古シノ馬ヲ陸軍省カラ武德會ニ下付シタ所ガ古イ馬ガ新シイモノニナルコトハナイ、之ヲ以テ或ハ使ヒ古シノ馬ヲ武德會ガ受ケタナラバソレヲ賣ルトカ貸ストカ何ト云フ方法ヲ執ッテ、ソレニ依ッテ得タル所ノ金ヲ以テ新馬ヲ買入レテ調教スルト云フコトデアリマセウカ、ソレダケヲ伺ヒタイ

○伯爵坊城俊章君 サウデゴザイマス、決シテ古イ馬ガ俄ニ新馬ニナルト云フ手品ハ出來ナイ、今御話ノ通りデアリマス

○子爵曾我祐準君 私ハ此反對意見ヲ陳述致シマス

○議長（公爵近衛篤磨君） 曾我君

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 今年ノ議會ハ大變建議案ガ多イコトデアリマシテ、隨分建議案ノ數ハ先刻田中君モ言ハレマシタ通り澤山アリマス、此建議ハ一面カラ見マスルト田中君ノ言ハレタ如ク金ノ附イテ居ラヌヤウニ見エマス、サリナガラ事實金ガ附イテ居ルノデアリマス、田中君ノ申サレタ所ノモノト矢張り一ツデアラウト思ヒマス、ソレハ陸軍デ廢馬ヲ年々賣リマスカ、先刻發議者ノ言ハレタ所デ見マスルト今日ニシテ二千頭ト言ハレマシタ、私ハ此後マダ餘程多クナルダラウト思ヒマス、何トナレバ諸君モ御承知ノ如ク陸軍ノ擴張ハ漸ク今年ニ至ッテ擴張ノ數ニ充テムト欲シテ居リマス、從テ馬ノ數モ今年アタリデ漸ク充テルノデアリマス、然ラバ充テタ以上ハ馬ガ増ス譯デアリマスニ依ッテ、是カラ先段々馬數モ多クナッテ、今日二千頭デアッタナラバ此先キハ三千頭四千頭ニ上ボルヤウニナケレバナラヌ、馬ハ五年ナリ七年ナリ使ッタアトガ廢馬ニナル譯ニナル、軍事ノ擴張ハ本年度ハ先刻言フヤウニ頂點ニ達シタノデアアルカラ、是カラ先キ尙ホ多クナルヤウニシナケレバナラヌ、其馬ガ先刻發議者モ言フ通り一頭二十圓バカリニ賣レルトスレバ今日ニシテ四萬圓デアリマス、若シ馬數ガ倍ニナレバ八萬圓デアリマス、全體此建議案ニハ多數ノ御贊成ハアリマス、併ナガラ是ハ諸君ガ御承知ガナイカラデアラウト思ヒマス、ドウ云フ都合ガアルト云フコトヲ……此馬ヲ賣ッテサウシテソレデ新馬ヲ買ウテソレヲ武德會ガ使フト云フノデアリマスガ、其事ハ實際行レルヤ否ヤハ餘程疑問デアリマスガ、先刻伊達男爵モ言ハレルヤウナ通り老馬却ッテ駒ト爲ルト云フ語ガアルケレドモ古イ馬ガ新シクナルト云フコトハナイ、老馬却ッテ駒ト爲ラウト云フ方ヲ取ラウト云フノデス、ソレヲ賣ッテ行ッテソレヲ

賣ツテ新シイ馬ヲ買フト云フコトデアルカラ、何ノコトモナイ武德會ガ四萬圓以上十萬圓位ノモノヲ政府カラ貰フト云フコトニナル、政府カラ寄附ト云フコトニナリハシナイカ、政府カラ貰フト云フコトニナル、其馬ハドウナルカト云フト廢馬ニナツテ陸軍ノ收入ニナル、サウシテソレカラ新シイ馬ヲ買フトカ大藏省ヘ戻ストカ、ソレデ矢張り政府ノ收入ニナルニ違ヒナイ、ソレヲ物デ貰フト今日デモ四萬圓、尙ホ進メバ五萬圓八萬圓十萬圓ト云フコトニナルト思ヒマス、餘程是ハ私ハ譯ノ分ラナイ案デアリマスト思ヒマス、若シ武德會ガドウセ貰フニ馬ヲ貰フナラバ臺場モ貰ツタラ宜イ、又鐵砲モ貰ツタラ宜イ、サウシタナラバ武德會ガ餘程ノ收入ニナリマセウ、若シモ斯ウ云フ風ニ段々運ンダナラバ何千萬圓ト云フ金ヲ使フ陸軍省ノ身代デアリマスカラ廢物モ澤山アリマス、其廢物ヲ武德會ナルガ爲ニ貰フナラハ臺場モ鐵砲モ貰ツタラ宜シイ、くるゞ式杯モ貰ツテ來テ朝鮮アタリヘ賣ツタラ隨分出來得ヌコトデアアルマイト思ヒマス、ソレデ是ハ甚ダ不都合ナ議案デアラウト思ヒマスニ依ッテ、全ク反對デゴザイマスガ、併ナガラ私モ建議者ト打合シタコトデアリマセヌニ依ッテ此際希望致シマスノハドウカ九人ノ委員ヲ選バレテ此調査アラムコトヲ希フノデアリマス、其委員ノ選定ハ議長ニ御任セ申シタイト思ヒマス、ドウカ御賛成アラムコトヲ願ヒマス

○子爵谷干城君 賛成ヲ致シマス、私ハドウモ是ハ行レナイコトト思ヒマス、誠ニ不都合ナモノデ、又コンナモノデ軍馬ト云フモノハ行クモノデアリマセヌカラ、再調査スルノハ適當ナ論デス、ドウゾ委員付託ニナルヤウニ……

○侯爵細川護成君 賛成

○男爵伊達宗敦君 モウ一應チヨット伺ヒタイコトガアリマスガ、唯今坊城伯爵ガ私ノ問ニ答ヘテ其通りデアルト云フノハ誠ニ簡短ナ話デアリマシテ、今曾我子爵ガ御述ニナル通り陸軍カラ下付シタ馬ヲ賣拂フト云フ方ヲ取ルノデアリマス、或ハ貸付デモスルト云フ方デアリマスガ、尙ホ提出者ニ於テハ此委員ノ付託ト云フコトニ附イテハ差支ナイト云フ考デアリマスガ、ソコラナ……

○伯爵坊城俊章君 御答ヲ致シマス、此馬ヲ貸付ケルガ目的デアリマス、併ナガラ貸付バカリデハ參ラヌコトガアリマスカラ、サウスレバ賣却モスルコトモアリマス、必ズ貸付バカリニモ參リマセヌ、詰リ委員ヲ選バレルコトニ附キマシテハ別段ニ私ニ於キマシテハ……提出者ニ於キマシテハ彼是モゴザイマセヌガ、ドウゾ委員ニ於テ十分取調ヲ願ヒタイモノデアリマス

○木下廣次君 委員付託ノ前ニ一言申シテ置キタイト思ヒマス
○議長(公爵近衛篤磨君) 委員付託ト云フコトニ附イテノ御議論デアリマスレバ……

○子爵谷干城君 若シ意見デゴザイマスレバ私ハ曾我君ノ御意見ヲ補ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員付託ガ問題ニナツテ居リマスカラ、ソレニ附イテ決ヲ採リマス、ソレガ消滅シタラ說ヲ述ベテ宜イト思ヒマス、曾我子爵ノ說ハ委員ニ付託スルト云フ說デアリマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、委員付託ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案、兒玉淳一郎君外一名發議、會議

順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十三年二月十三日

發議者

兒玉淳一郎

五十嵐甚藏

贊成者

公爵二條 基弘

外三十六名

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議

謹テ惟ミルニ佐渡國眞野宮ハ

順德天皇遷幸之舊跡ニシテ御陵歷然トシテ存シ遺愛ノ器什皆徴スヘシトナス明治七年

今上天皇陛下御靈代トシテ更ニ御劔ヲ此處ニ納メサセ玉フ

詔旨誰カ感泣シ奉ラサランヤ而モ奉祀以來居諸相移テ社祠頽敗深荷茫々ラムトス今社殿ヲ改築シ永遠追懷ノ誠ヲ致サム事ヲ謀ルノ企アリ政府ハ宜シク相當ノ資金ヲ支出シテ之ヲ補助スヘシ

右建議ス

(兒玉淳一郎君演壇ニ登ル)

○兒玉淳一郎君 諸君、此建議ハ皆サン御承知ノ通り佐渡國ノ 順德天皇ノ

御遺跡保存ノコトデアリマシテ、委シイコトハ理由書ニ書イテアリマスカラ、
チヨット摘要ヲ申シマス、順徳天皇ノ佐渡ノ御遷幸ハ承久三年デゴザイマ
シテ、其次第八歴史ニモアリマスカラ本員ガ述べナクトモ御承知デアリマス、
ソレカラ其後ニ至ッテ佐渡デ御崩御ニナリマシタ、其年數ガ大抵二十二年デ
ゴザイマス、ソレカラ明治七年ニナッテ此大阪府ノ水無瀬宮ノ方ニ御納ニナ
リマシテゴザイマス、其時ニ今上天皇ヨリ御劔ヲ佐渡國ヘ御納ニナリマシ
タ、ソレカラ明治十一年ニ北陸御巡幸ノ際ニ新潟ノ行在所カラ御代拜ノ使者
ヲ遣サレマシテ其御遺跡ヲ御探シニナリマシテ、委シイコトヲ御調ニナリマ
シタ、又三十一年十二月ニ社殿改築ノ御用地トシテ無料拜借ノ特典ヲ得テ居
リマス、三十二年三月、保存資金トシテ思召ヲ以テ二百圓下付ノ恩命ヲ受ケ
テ居リマス、然ル處二十八年大洪水ノ爲ニ御宮ガ西南ニ傾キマシテ雨ノ爲ニ
傷ンデ參リマシタ誠ニ恐入ル次第デ、之ニ依ッテドウゾ之ヲ保存致シタイト
云フ次第デアリマス、委イ譯ハ理由書ニアリマスカラ、ソレデ御覽ヲ願ヒマ
ス、分ケテ申上ゲマスノハ理由書ノ中ニ島上郡ト書イテアリマスノハ明治二
十九年四月ニ改正ニナリマシテ三島郡ト變リマシタ、ソレヲ正誤致シテ置キ
マス

○子爵谷干城君 私ハ誠ニサウ云フ議案ハ大變大切ニ審議ナセヌナラヌコト
ト考ヘマス、又斯ウ云フヤウナコトハ續々出テ來ルト思ヒマス、ソレニドウ
モ議院デ反對ナスルノモ甚ダ恐多イ譯デゴザイマシテ、勢ヒ皆默々ノ裏ニ居
ルト云フ譯デアリマス、是デ又御社ノコトト云フモノハ果シテ適當ナモノナ
ルヤ否ヤ、又ドウ云フ經畫ニナッテ金ハドノ位要ルヤ否ヤト云フコトハ餘程
審議ナシテ、又金ノ都合ニ依ッテハドウシテモナサヌナラヌ事柄デモ先ヅ暫
ク之ヲ延期スルト云フ必要モアリマセウ、ソレデ反對ナスルノデアリマセヌ、
反對スルノデアリマセヌガ兎角是ハ金ニ關スルコトデ容易ナラヌコトデア
リマスルカラ是モドウゾ委員ニ付託シテ、サウシテ金ノドノ位要ルト云フコ
ト又今日ノ有様ヲ委シク吟味ノ上デ、ソレカラ御決シニナルコトヲ希望致シ
マス

○子爵小笠原壽長君 賛成
○松岡康毅君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○田中芳男君 本員モ谷子爵ノ委員付託説ニ賛成ヲ致シマス、是ハ皇室ニモ
關係シタコトデモアリマスシ、又御陵ノコトナラソレソレ取調モシナケレバ

ナラヌト考ヘマスカラ本員ハ委員付託ニ致シタイト思ヒマス

○侯爵細川護成君 委員付託ニ大賛成デアリマス

○兒玉淳一郎君 本員ハ提出者デゴザイマスガ、委員付託ニナリマスコトハ
満足ト思ヒマスカラ此事ニハ賛成致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員付託ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ其通りニ決シマス、是デ今日ノ議事ハ終
リマシタ、唯今御委託ノ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔太田書記官朗讀〕

鐵道營業法案外一件特別委員

子爵岡部 長 職君 子爵堀田 正養君 男爵小澤 武雄君

男爵南岩 倉 具威君 南郷 茂光君 富田 鐵之助君

山脇 玄君 木下 廣次君 住友吉左衛門君

滿期軍用馬匹ニ關スル建議案特別委員

伯爵坊城 俊章君 伯爵德川 達孝君 子爵曾我 祐準君

男爵渡邊 清君 男爵北垣 國道君 男爵伊達 宗敦君

鮫島 武之助君 木下 廣次君 小幡 篤次郎君

順徳天皇御遺跡保存ニ關スル建議案特別委員

侯爵細川 護成君 子爵谷 干城君 子爵鍋島 直柔君

子爵内藤 政共君 子爵小笠原 壽長君 宮本 小一君

高橋 新吉君 兒玉 淳一郎君 五十嵐 甚藏君

○議長(公爵近衛篤磨君) 明日ノ日程ハ追ッテ御報道致シマス、散會

午後零時三分散會